

No.

204

立命館大学校友会報



**Special #1** [特集 1]

NHK連続テレビ小説

『オードリー』をめぐる立命人たち

**Special #2** [特集 2]

人間科学分野新領域への教学展開

福祉・心理・教育関連の

学科・研究科等の新設にあたって

輝くひと  
brilliance 37

全力で人の命を守りたい。  
私の道、続く女性の道を  
拓くためにも。

西馬 里美さん ('97産社)

神戸市消防局 消防士長

## 表紙の人



西馬 里美さん ('97産社)

S a t o m i N i s h i u m a

女性の社会進出が進むにつれ、どこでどんな女の人に出会っても驚かなくなった。しかし、救急車から女性隊員が颯爽と下りてきて活躍するのを目の当たりにしたら、きっと心を動かされるだろう。

神戸市水上消防署の西馬消防士長は、神戸市消防局が初めて採用した女性吏員4人のうちの1人である。昨年4月に救急隊員に任せられ、今度は初の「24時間勤務をする女性」となった。

大学3回生の時、阪神・淡路大震災が起き、西宮の実家で被災した。消防の人たちが不眠不休で市民を助けていた姿が脳裏に焼き付き、消防局の門を叩きかけになったという。

入局した97年春から、同期生とともに消防学校で寮生活をした。すべて男性と同じく、ランニング、ロープ渡り、等々。水防訓練では重い土嚢を積み、山火事消火の訓練ではホースを担いで山に登った。高校時代は槍投げの強豪選手だった彼女だが、遅れをとれば悔しさを涙を滲ませた。消燈後もいつ呼集がかかるかわからず、勉強もきつかった。けれども助け合って乗り越えた半年間は最高に充実していた。

その後救急の標準課程を修めたが、配属先は予防査察の係だった。火災や救急の現場に飛び出していく男性の同僚たちをうらやましく思い、「いつかは私も」と救急隊勤務を希望しつづけた。

“男の聖域”に現れた小柄な女性隊員に、先輩署員たちは戸惑いを見せた。「女にこの仕事が務まるか!」と言われたこともある。しかし徐々に認められ、道を拓いている。出勤した先でも評判は上々だ。「女の人 came、と喜んでいただくのも嬉しいですが、救急隊の人に助けてもらえて有難かったと仕事そのものに感謝されるほうがもっと嬉しいです。女性であることを理由に注目されるより、男性に溶け込んで働いている姿を自然に受け止めてもらいたいと語る。

主婦でもある。キャリアアップと一女性として生きることの両立に悩みます。「今は救急救命士資格取得が一番の目標。養成所入校に必要な2000時間の実務経験を積むまでは仕事第一です」。このほど消防司令補への昇任試験に合格、4月から階級章も気持ちも新たに頑張る。

「救急の仕事が好き、ずっと続けたい」と声を弾ませる西馬さん。やっぱり“カッコいい”女性として目を引くのである。

(写真・小幡 豊)

C

O N T E N T S

1 輝くひと 西馬里美さん

Special #1  
特集1

3 NHK連続テレビ小説  
『オードリー』をめぐる立命人たち  
長沖 渉さん・段田安則さん・茂山逸平さん・倉木麻衣さん

8 RITSUMEI INTERVIEW  
役者として生まれた。でも立命館なしには、  
本物にはなれなかったね、きっと。  
長門裕之さん



10 りつめい誌上土曜講座  
「紀元千年の恐怖」の神話をめぐって  
小田内 隆文学部教授

12 われら立命人  
呪文を唱えて『もうひとつの国』へ  
竹本由紀子さん



13 子どもたちを語る  
学校教育 基本の五活動  
中村和歳さん

14 立命館秘話  
英米文学専攻の黎明と小誌『PLAZA』の創刊  
西村満夫さん

15 校友会ホームページ リニューアル情報

16 校友会ネットワーク

18 立命館ファミリーカードコーナー

Special #2  
特集2

20 人間科学分野新領域への教学展開  
福祉・心理・教育関連の学科・研究科等の新設にあたって  
川口清史教学部長

23 We are energetic.

24 キャンパストピックス

26 ますますのご健康とご活躍を!

28 INFORMATION



# 『オードリー』をめぐる立命人たち

“朝ドラ”の愛称で親しまれる国民的ドラマ番組、NHK連続テレビ小説。  
現在放送中の『オードリー』では、演出家、出演者、そして主題歌担当アーティストとして、  
4人のビッグな立命人が活躍しています。  
それぞれの声をもとに、『オードリー』を新しい角度から楽しんではいかがですか。



チーフ・ディレクター  
長沖 渉さん



佐々木春夫 役  
段田安則さん



佐々木 梓 役  
茂山逸平さん



主題歌 作詞・歌  
倉木麻衣さん



取材協力/NHK大阪放送局 写真/p.3下・p.7 沢田さん大竹さん：NHK大阪放送局広報提供、p.3・p.6 倉木さん：(株)ギザ提供、  
p.4 右下：NHK出版『NHKドラマ・ガイド オードリー』より 撮影：武田博志、その他撮影：小幡 豊 文/りつめい編集部

# ジャーナリスティックに 映像メディアの歴史を見つめた 渾身の力作です。

映画二〇〇年・テレビ五〇年

この『オードリー』で朝ドラのチーフをするのは二度目ですが、実際、ものすごくしんどいことです。半年間、一五〇回の物語をつくり、ドラマとして持たせるといのは、九六年に『ふたりっ子』を担当した時につくづく思いました。

いろいろ悩んだ末、脚本は前回の同志、大石静さんにお願いしました。大石さんご自身に重なるような生い立ちのヒロインを設定し、それに僕が以前からやりたかった太秦の映画の話をかためた企画を考えました。

世紀をまたぐ連続ドラマだということも非常に意識しました。NHKにいうわけですから、僕はジャーナリストでもあるわけです、いい格好すれば笑。やっぱり朝ドラであっても時代を切り取らなければ。日本の映画一〇〇年・テレビ五〇年の歴史を振り返り、その盛衰を描くことで、番組ソフト制作者である僕たちがやってきたことの検証

や、今後に向けたメッセージの発信もできるわけです。それに、愛着のある現・大阪放送会館で通して収録する最後の朝ドラですから。ここで育った者として、幕引きは反省を込めて、納得のいく形にしたかったです。

## とことんこだわって

昨年は元日と大晦日に休んだだけです。家にも、パソコンやファックスからどんな仕事の情報が流れてきますからね。大石さんからこれを調べてほしい、あそこが疑問だ、と連絡があればそれに応え、台本が届けば手を入れて、という具合で、もちろん役者さんや他のスタッフとのやりとりもありませんから、三六三日働きました(笑)。

とにかく本格的なものをつくりたかったので、様々な時代劇を研究して”劇中劇”はオリジナルにこだわりました。それから僕は大阪出身のディレク



**NAGAOKI Wataru**

1951年大阪府生まれ。立命館大学文学部で西洋史を学び、76年卒業。同年NHK入局。現在、大阪放送局芸能部 ドラマ チーフ・ディレクター。連続テレビ小説は『都の風』『君の名は』『びあの』『走らんか!』の演出を手がけ、『ふたりっ子』『オードリー』ではチーフ。他に単発ドラマ『幸福な市民』『終のすみか』など。

ターとして、関西ドラマには大いに思い入れがあるのですね。関西弁をきちんと話せる役者さんを探しました。段田さんや茂山君もそうです。関西出身でない俳優さんが演じることに決まったのは、本の中の設定を変えました。例えば賀来千香子さんを東京出身というように。方言指導はヒロイン



の岡本綾さんと大竹しのぶさんだけに留めたいです。だって、おかしなイントネーションの台詞が飛び交ったら気持ち悪いでしょ。僕は「お尻が痒くなる」とよく言うんです(笑)。

こうして、ヒロイン像の設定や物語の背景に従来の朝ドラを超えた要素を含んだ、満足できる作品ができました。

## 二世紀映像メディアへの 問いかけを託して

いよいよ佳境に入るこのドラマですが、ラストは二世紀、つまり現在の時点で終わらせます。ヒロインは四七才。テレビのディレクターも経験して映画監督になっている。映画を一本撮って、結局映画がテレビかといった議論を超越したものを彼女は模索する。さつき言った、僕たちの自己反省を込めたメッセージというのはこれなんです。映像ソフトづくりにジャンルはない。つまり、良い企画、面白いストーリー、そして優れた人材。この基本を忘れ、ハードの進歩と多チャンネル化に引きずられて単に番組を量産するだけになれば質の低下につながり、いずれテレビもかつての映画のように衰退の道をたどるでしょう。僕も大石さんも共に抱えているこの危機感をヒロインの最後の台詞に託します。ここに到るまでの展開にとっぞご期待下さい。

それから、今回あらためて気付いたのですが、同じドラマに四人の立命人がいたことは心強いですね。同窓意識っていうのは普段あんまり感じないのですが、同じキャンパスの空気を吸っていた人、今いる人と仕事をするのは、やっぱりいいものですよ。

# 関西ドラマの殿堂 NHK大阪で またひとつ新境地を拓けました。

九六年の朝ドラ『ふたりっ子』でもヒロインの父親役をさせていただきました。あの時は豆腐屋のおっちゃん役のイメージも作りやすかったのですが、今回の春夫の役は、いろんな意味で難しかったですね。僕の新しい境地を見ただけたのではないかと思います。

ヒロインの父・佐々木春夫 役 **段田安則**さん（'75文入学）



**DANTA Yasunori**  
1957年京都市生まれ。75年立命館大学文学部入  
学。日本文学を専攻。この頃演劇を始める。プロ  
の俳優を志し、大学を中退。81年青年座研究所を  
卒業。劇団「夢の遊眠社」に入団。以後92年解散  
時まで劇団公演の主役を務める。テレビドラマや  
舞台で幅広く活躍。所属：シス・カンパニー  
URL: <http://www.siscompany.com/>

「戦前のアメリカに育って自由な精神を身につけた、でも一方で昔ながらの日本の考えも持ち合わせて、おまけに日本語より英語が達者なお父さん。って、僕はこんな方にお目にかかったことがないですから笑、これはいったいどうしたらいいのかと。台湾での描かれ方や、収録現場での雰囲気から、ちよっとコミカルな部分を要求されてもいるのかなとも感じましたし。いろんな面でこれまで経験したことのない興味深い役です。」

「佐々木家」の人々と、隣の旅館「榎屋」の女主人との複雑な関係もわかりにくいでしょう。オードリーがどうして大竹しのぶさんのところで育てられるようになったのかとか、ご覧になってい

る皆さんもひっかかるところではないかと思うんですが、はっきり書かれていないので僕らにも理解し難い。それを何とか自分なりに納得して演技していくわけです。でも次の週の台本を読むとその解釈が揺らいだり、本当にオードリーとはもう少しゆっくり話して分かり合いたかったです。欲を言えば、でも、今回はやっぱり英語、これには苦労しました。いやはや、必死なんです。英語の台詞のときは。

一方で、ふるさと京都の言葉で芝居ができる、嬉しいドラマでもありません。少ないですから。いまはNHK大阪くらいじゃないですか、関西を舞台に、本物の言葉や風情を大切にしながらドラマを作るのは、その先頭に立つのが長沖さんですよ。

長沖さんとは何度も一緒にいますが、「立命くさい」広小路のにおいを漂わせている方ですね。

息子・梓役の茂山君には昔のあのイメージはありませんね。衣笠に移ったあたりから立命館も変わったんでしょう。「いつ卒業できるんや」とか、「いま大学はどんな感じ」と時々尋ねます。

彼はゆくゆくは人間国宝かもしれないから、今のうちには仲良くしておかないと（笑）。

## 連続テレビ小説『オードリー』

どんなお話？

昭和三〇年代、現代の京都・大森が舞台。アメリカ帰りの父と、まったく考え方の異なる二人の母という複雑な家庭環境で育ったヒロイン・美月が、強烈な個性をもつ周囲の大人に翻弄され、ハングリ精神溢れる仲間たちに触発されながら自己実現をはかり、映画・テレビのクリエイターとしての人生を模索していく物語。

バックグラウンドに架空の映画会社「大京映画」を設定し、その盛衰を描き出すことで、映画界・テレビ界の半世紀の歩みを検証しその将来について問いを投げかける、メッセジ性の強い本格的ドラマ。

### 今後の見どころ

苦境に追い込まれた大京映画をやむなく離れ、育ての母が残っていた旅館「榎屋」を継いだ美月。しかし映画への思いを断ち切れない自分に気づき、制作プロダクションとして再建された大京映画に、今度はスタッフとして戻る。そこで、美月はどんな経験をし、何を思い、クリエイターとしていかに成長していくのか。そんな彼女の言葉を通して語られる「オードリー」制作スタッフのメッセージに注目！

【放送時間】  
3月31日（土）まで  
NHK総合  
（月～土）午前8時15分  
（再放送）午後12時45分  
NHK衛星第2  
（月～土）午前7時30分  
（一週間分一括放送）  
（土） 午前9時30分

僕の役者としての出発点は、広小路の学生会館で演じた舞台です。文学部の仲間と劇団を作ったのですが、最初のお客さんは一〇人もいないくらいでした（笑）。それから社会人の劇団に入りするようになり、大学からは足が遠のいて、急速にプロの世界に近づいていきました。同じように演劇をしていた友達からももらったアクセント辞典をいまも使っています。あの本を見ると広小路時代を思い出しますね。

”**梓君は僕しかない。**  
これが**“ドラマの醍醐味”**です。

僕の役、オードリーの弟・梓は段田さんが演じるお父さんの血を引いて飄々としたタイプです。大人たちの関心が姉にばかり向いているのを幸いに周囲のことには我関せずという態度に見えて、実は影に隠れた寂しさも少し持っているという微妙な感じが、僕の演技にうまく出ているでしょうか？

役のキャラクターは僕の地に近い感じで、普通にできます。それに、梓君とお母さんの愛子さんとのドラマの中での会話が、僕と母との会話にすごく似ているんです。「ちゃんと休みの日くらい家に帰ってきて、お母さんと一緒にご飯たべなさいよ」「誰とどこへ行ったの？」なんて、スタジオでも家でもいつも言われています(笑)。

梓がうらやましいと思う部分もあります。医者になりたいんだと珍しく強硬に主張して、それを実現させた訳ですが、自分のやりたいことを探して進んでいく人は強いなと思う。僕は物心つく前から狂言をやっていますが、それ以外の道もあったかも知れないと考



えることも、やっぱりありましたから。ドラマで演じることの面白さは、自分の役、今回であれば梓君は、僕しかないっていうことです。狂言ではある役を、例えば僕の兄もするし、別の時には僕がやる。これはドラマとは大きな違いなんです。

テレビドラマは子供の頃に、同じく朝ドラの『京ふたり』に出て以来しばらくご無沙汰してしまっていて、九九年に久しぶりに出たドラマが、NHKの『終のすみか』でした。この時の演出も長沖さんで、立命に入ったんだって。俺は先輩や！って言われたんです。

段田さんとも一緒でした。だから今回の『オードリー』は気分的に楽にやれたんです。『終のすみか』では、僕が主役だったこともあって、長沖さんは厳しかった。「その程度の芝居はやめてくれ！」って何度も怒鳴られました。何しろ阪神大震災の話ですからね。今ではもう僕のテンションから

何から、全部長沖さんには見透かされちゃってるみたいで(笑)。

今はそれほど同窓意識や感慨はないですが、きつと卒業した後でしみじみと感じるんでしょうね。



SHIGEYAMA Ippei

1979年京都市生まれ。大蔵流狂言師、二世・茂山七五三の二男。94年、茂山一門の若手で結成した「花形少年狂言隊」に加わり活躍、ファン層を広げる。昨年には「TOPPA! (心・技・体、教育的古典狂言推進準備研修修練磨の会)」を兄・いとこらと旗揚げ。98年立命館大学文学部入学。現在日本史学専攻の3回生。

KURAKI Mai



立命館で夢に向かって頑張ります  
『オードリー』 主題歌  
Reach for the sky 作詞・歌  
倉木麻衣さんの話  
(二〇〇一年四月 産業社会学部入学)

「オードリーの主題歌を」とのお話をいただいたとき、私が書きためていた詞の中に、内容がちよとびつくりしたものがあったんです。とてもびっくりしました。この「Reach for the sky」は、夢に向かって頑張っていこうという自分の思いからつくった歌です。皆さんにも私のこの気持ち伝わったらいいなと思って、一生懸命歌いました。

聴いてくださる人たちがポジティブになれるような歌を歌っていきたいんです。私自身、こんなふうになりたいな、という目標のようなものをイメージして詞を書いていますから、いつも前向きに、夢を諦めないように、と思っています。

春から立命館大学で新しいスタートを切ることにしました。勉強して、アジアの国際交流を担えるようになれば嬉しいです。

皆さんの後輩として勉学と音楽活動の両方の幅を広げ、また一歩夢に近づけるように頑張りますので、これからもどうぞよろしくお願ひします。



東映太秦映画村入口

時代劇のセットで異空間を体験できる。



広隆寺門前にさしかかる風電



マキノ省三監督の像(等持院門前)

1921年、日本映画の父・マキノ省三(1878～1929)は等持院に撮影所を開いた。太秦の発展につながる第一歩がここで踏み出された。



車折神社末社・芸能神社

車折神社は昔から茶華道や古典芸能関係者の信仰を集めていたが、後に映画人らの希望で“芸能神社”が建った。ずらりと並ぶ著名人の玉垣は壯観。

## オードリーの舞台 映画の街・太秦は 立命人懐かしの場所

かつて“日本のハリウッド”と称された太秦。

映画産業のうつろいを知る人々が暮らし、  
人気役者が立ち回った舞台がそこかしこに残っています。  
下宿していた皆さんも多いことでしょう。

### 太秦映画のお料理番

寿司・割烹 ひし伊北店 店主  
西田 直文さん('73経営)の話



太秦の全盛期は私が小学生の頃でした。撮影の衣装そのままで役者さんが“大映通り”を歩いている。寺の境内ではしょっちゅう撮影がある。このあたりの人にとってはごく当然の光景でした。

御大・東千代之介さんが、私の生家(広隆寺門前・ひし伊)を撮影スタッフとの宴会によく使って下さいました。毎週毎週封切りでしたから、派手で、それは賑やかかったですよ。

校友の皆さんも、エキストラのアルバイトをなさったのではありませんか？

今は当時ほどの活気はなくなりましたが、私は、撮影用の料理を作って届けたり、手元だけ出演したり(笑)、この店をテレビドラマのセット代わりにお貸ししたりと、お付き合いが続いています。有名な俳優さんもよく食事に来られます。加山雄三さんの料理演技指導もさせて頂いて、一生の思い出なんですよ(笑)。

### 大映通り商店街



太秦駅と帷子ノ辻駅を結ぶ、かつて映画関係者が闊歩していた通り。



商店街の中ほどにある三吉福荷神社。往年のスターが寄進した石柱が並ぶ。昨年10月、マキノ省三監督の顕彰碑(写真左側)が立てられた。



『オードリー』劇中で“大京映画撮影所”近くの商店街を歩く沢田研二さんと大竹しのぶさん。

# 長門裕之さん

俳優「51文入学」

空気のようにだった芸能界を  
学業により客観視

映画人のご一家にお生まれになり、映画を生活の一部としていらっしゃったわけですね。

そう。生まれは御室ですが、育ったのは太秦で、すぐ目の前に日活の撮影所（注：後の大映撮影所）がありましたね。そこが僕の遊び場で、遊ぶ相手は俳優さんとか、親父（俳優・沢村国太郎氏）の周りに集まってくる若い連中。僕もいずれはデビューするってみんなもわかってたものですからね、可愛がってもらって育ちました。

立命館へ入学にあたって文学部をお選びになったのも、映画の影響ですか。

だって、役者になるんだもん。言葉を学ばずしてどうするかと、日本文学を専攻したんです。映画界というのは感性に頼っていて、論理的にものを説明できない言葉の足りない世界だと、そして自分自身が一番足りないのも言葉だと、その時は思っていましたから。

でもね、既に映画に出ていたから、勉学に真剣になりすぎて縛られちゃうと時間的に困る部分もあったし、まあ、仕事と勉学と遊び、程良く時間配分をして、自由でしたよ。演劇研究部と軽音楽部に入ってたね。劇研では、文学座や京都の新興の人たちと一緒に小学校を回って公演したり、軽音ではウクレレ弾いていたの。

”エハカナカ・ハワイアンズ”  
”というて、立同戦の前夜祭なんかでも円山公園でね、やりましたよ。女子大に演奏しに行くと、「キヤーツ」と歓声にさらされて、すこかったです。これは余興だったけれども仕事とだぶらせて、究極のところ、俺はこの刺激が欲しいくなるのかな、役者ってここに辿りつくのかなと思っただ。

というのは、当時僕が身近に見ていたスター俳優たちは本当に雲の上の存在で、人々は街で見かけても騒いだりせず、寂として、畏敬の念をもって遠巻きにしていたものだからね。女子大でのステージで感じた昂ぶりは、当時の芸能界にはまだなくて、僕にとっては驚きだったんです。

立命館は長門さんにとって、つまるところどんな場所だったのでしょうか。

大学での勉学は僕に、それまでは感性でしか捉えられなかった芸能界とそこで生きる自分自身を、知的に理解させ、分析させてくれましたね。角帽をかぶることによって、人生観・倫理観・社会観・美意識といったものに自分なりの構えをつくることができた。その角帽を脱ぐ時が僕にはなかった、それが残念なんだけれどもね。しかし、中退したけれども立命館は僕がプロの役者として旅立つためのジャンピングボードだったと思っていますよ。

在学中のある時、映画の中の”役の落差”、なぜ俺はこの役じゃなくてこっちなんだと意識した。そこで初めて、他者からの評価によって、他人に律せられる中で生きていくのが役者であると気付いたんだ。それまでは明日の仕事は必ずある、仕事をすれば楽しい、それだけだった。プロでも何でもなかったんだね。恋愛しても、彼女と自分との役の落差に嫉妬したりした。男としての

役者として生まれた。でも立命館なしには、本物にはなれなかったね、きっと。

1934年京都市生まれ。本名・加藤晃夫。51年立命館大学文学部入学。幼い頃から映画に出演していたが、この年から芸名を長門裕之とする。53年、学業を中断し東京へ出て、本格的な俳優活動を始めた。以後の出演作品は枚挙にいとまがない。59年度「にあんちゃん」(日活)でブルーリボン主演男優賞・ホワイトプロンズ男優賞。63年度「古部」(松竹)で毎日映画コンクール助演男優賞。映画のみならず、舞台、テレビでも幅広く活躍、現在に至る。74年(株)人間プロダクション設立。





横 顔

ながと ひろゆきさん

錚々たる顔ぶれの映画人一族の中で生まれ育った長門裕之さん。父は沢村国太郎、母はマキノ智子、母方の祖父はマキノ省三（p.7参照）、伯父がマキノ雅弘、さらには父方の叔母が沢村貞子、叔父が加東大介（以上敬称略）である。津川雅彦さんが弟、夫人は南田洋子さんというのも広く知られたことである。

こんな長門さんには、普通の友人たちと出会える学校生活が新鮮だった。入学式の日、広小路文学部棟（p.14参照）の中庭で、隣り合わせた同級生と初めての煙草を吸ってひどくむせた。期待と不安の中、大人になるための通過点の一つとして、忘れられない記憶だそう。末川先生の講義を聞きに法学部へ出向くのも楽しみだったとか。

ある日、阪神タイガース元監督・吉田義男氏（本学中退）と偶然新幹線で乗り合わせたら「長門君、後輩やる!」と声をかけられた。「学校でのつながりってのは、面白いもんだね。言われた瞬間、俺は「はい、はい」と、突然一後輩になって、敬語をつかっちゃった（笑）」

昨年11月の東京校友会総会では、大勢の出席者から歓迎を受け、若手の校友とも大いに交流した。「立命からオリンピック選手が出たとか、3万人の学生のうち1万人が女性だなんて、信じられない。まさに隔世の感があるね」と感慨深げ。

演技の幅をいっそう広げようと意欲的な長門さん。映画・ドラマ・舞台の予定は、人間プロダクションホームページ（<http://www.3.ocn.ne.jp/nin-pro/>）でどうぞ。



昨年秋、長門さん・南田さんが座長として全国巡演した「阿修羅のごとく」の舞台上  
写真提供（株）人間プロダクション

活券にかかわると思って、「俺は行かないやならない!」って、立命館も何もかも放り出して東京へ出た。この瞬間がプロとしての最大のジャンプだったですね。

女房を幸せに  
ただ一つの願いのために

その後は映画だけでなく、ドラマ、舞台ほか、あらゆる方面で活躍ですね。

日活に飛び込んで映画最盛期を過ごし、フリーになった後も皆さんがぐすね引いて待っていてくれましたからね。すごいテンポで降るように来る仕事…。訳も分からず走ってました。いつでも自分の前にはレールがあつて、おのずと前進していけると思っていたんだけど、六〇という年代になり、ちょっと病気をしたら、仕事がパタッと途絶えた。復活した今は、今度こそ自分自身が動力源になって進んでいこうと、いろんなことに挑戦しています。

新世紀を迎えて、お仕事も改革ですね。

そうだね。舞台も、これまではほとんど僕のやりたいようにやらせてもらっていたけれど、今年は全然タイプの違う演出家のもとで努力しています。僕の知らなかった演劇を創造しようってね。あれこれ指図されて少々億劫だが、内心燃える

ものもあるわけよ（笑）。僕の往年の作品なんか知らないだろうと思うような若い監督・俳優と一緒に映画の仕事も最近しました。映画界のいろんな伝統を甲冑みたくに身につけた古狸の僕が、若い人との複合によって、自分でも信じられないような色や形に変化していく。なかなかいいなと思ってますよ。昔を知っている人からは拒否反応もあるだろうし、リスクもある。でもそれは背負っていきたいと思います。人が「この役は長門だよ」と言ってくれるところに存在するのが僕だからね。ある意味で寂しい世界だけれども、望まれたものを形にしてお返しできれば、最高に嬉しいよね。

今度、「水戸黄門」の新シリーズに準レギュラーで出演します。とうとうあのマンネリズムも壊される時が来て、リアルでシリアスな水戸光圀を描くことになったの。まさに変革の時に呼んでもらえて、嬉しいなあ。

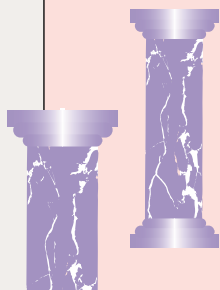
どんな長門さんが見られるか、楽しみにしています。

「こつやつて自分を改革していくためには、少なくとも時流の中にいないといけないんでね、これからは流れにもまれないがらも、手だけでも出して頑張りますよ（笑）。僕らは一匹狼だから明日はない。」今「しかない。たるんでる場合じゃないんですよ。いろんな色を出して、可能性を外に知らせて、次の仕事を膨らませるんです。だって、生きなきゃならない。女房を幸せにしなければならぬ。天下を取る願いに比べたら小さいけれど、女房に嬉しい顔をさせたいというのは手の届き得る願いだよね。最初に気付いていればよかった。手の届く願いをもっていれば、俺は幸せというものを、もっと身近なものにできるんだらうね（笑）。

# 「紀元千年の恐怖」の 神話をめぐって

立命館大学文学部教授 小田内 隆

おだうち・たかし  
一九五四年生まれ。八五年早稲田大学文学部研究科博士後期課程単位取得退学。九三年助教  
授として本学にて「神話」九七年教授。専門は西洋中世史。



私が土曜講座で話すように与えられた宿題は、ちょうど一〇〇〇年前の紀元一〇〇〇年の頃のヨーロッパの歴史について何かと言ったものでした。最初は文字どおり、この時代の概説的な話でもと考えていたのですが、なぜヨーロッパの歴史ではこの年が特別な意味をもって位置付けられているのかという疑問が心に浮かんできました。そこで、紀元千年前後の歴史そのものというよりは、それについて歴史研究者がどのようなイメージをもって語り、書いてきたかということ、言いかえれば紀元千年にヨーロッパ史のターニング・ポイントを置く歴史の書き方について少し考えてみました。少し難しい言葉で言えば、ヨーロッパの封建社会に関する「歴史記述」の問題ということです。

さて、西暦二〇〇〇年をめぐって、様々のかたちで「この世の終りが近い」という終末思想、あるいはそれに対する関心の高まりがみられるようです。私が携わっているヨーロッパ中世史の分野でも、こうしたブームや状況と密接にかかわって、かつて「紀元千年」のヨーロッパについて抱かれ、その後の学問的批判によって克服されていたかにもえたとつイメージの「神話」が再び装いを新たにしてみがえって、新たに論争を呼んでいるといういきさつがあります。

それは「紀元千年の恐怖」という神話です。それによれば、キリスト誕生の一〇〇〇年目に当たるこの年に、世界の終末が切迫しているという恐怖が人々をとらえ、パニック状態に陥れていたといわれています。こうしたイメージが同時代の史料に根拠を持つものではないこと、したがってそれは歴史家の想像の産物にすぎないことは、その後の史料批判によってほぼ明らかになっています。その結果、「紀元千年の恐怖」は歴史ではなく、神話、伝説にすぎないことは、もはや疑えないものとなったといえます。

しかし、一九六〇年代に、「紀元千年の恐怖」論が新しい形で蒸し返されるきっかけとなったひとつの小さな書物が刊行されました。それは、我が国で最もよく知られている現代フランスを代表する中世史家の一人、G・デュビイの『紀元千年』という本です。かなり前に翻訳も出ています。この現代フランスの指導的研究者の圧倒的影響力もあり、次第にこのテーマは他の研究者の関心も引くようになってきました。しかし、彼が蒔いた種子が実って、「流行」の様相をさえ呈して来たのは、二〇一〇年のことなのです。

しかし、これをたんなる流行現象として片づけてしまつわけにはいきません。この新版「紀元千年の恐怖」神話の主唱者たちが現代を代表する中世史

研究者であるという事実があるからです。では学問の世界になぜこのような神話がくり返しあらわれてくるのでしょうか。歴史家も時代の子であり、自らの生きている時代の問題、価値に導かれて過去の研究に向います。「紀元千年の恐怖」はその意味では、過去の社会の現実というよりは、そうした歴史記述をおこなう歴史研究者の在り方に関わっているのではないのでしょうか。そこで、以下、この神話の系譜を辿りながら、神話の成立、破壊、再生の歴史的背景について考えてみました。

四つの段階が区別されます。まず第一に、同時代の史料です。「紀元千年」を特別な年とした史料は、一〇四〇年代に書かれた修道士ラウル・グラーベールの『歴史五巻』のみであることが明らかです。しかも、世界の終末の接近ということは、そこにはいささかも述べられていないのです。しかし、この象徴的な年を歴史の転回点とする歴史記述上のパターンは、このテクストにはじまります。重要なことは、グラベールの『歴史』の写本は中世ではほとんど流布せず、利用されなかったことです。近代の初めに、人文主義と宗教改革の勃興のなかで、「再発見」されるのを待たなければなりませんでした。

第二に、一七世紀の初頭、対抗宗教改革の代表的論客であったバロウウス枢機卿が書いた『教会年代記』こそが、この神話にとって真の出発点となります。その第一巻の冒頭にはこう書かれています。「新世紀が始まる。紀元千年後の最初の年が始まる。…アンチキリストという名の罪と滅びの子が出現した後にこの世が終末を迎えると告げる人々の虚しい主張にもかかわら

ず。この主張はガリアで表明され、まず最初にパリで説教され、ここから世間に広められ多くの単純な人々によって恐れをもって受け入れられたが、教会の博士たちによってありえないこととされた。「ここに紀元千年の人々が世界終末の恐怖に怯えたということが初めて書かれたのです。しかもそれは暗黒の中世における民衆の無知に由来するとされました。」の意味で、「紀元千年の恐怖」は近代の黎明を開いた人文主義者や啓蒙主義者の「暗黒の中世」観の重要な舞台装置として創り出されたのです。さらに、パロニウスはこの記述を明らかにラウル・グラベールの『歴史』を下敷きにして書いたのですが、これによってそれまで忘れられていたグラベールのテキストが「再発見」され、「紀元千年」を歴史の転回点とする歴史記述のパターンが定着することになります。ただし、それは本来のテキストにはなかった終末論的恐怖の意味を新たに加えてのものでした。この関連で、歴史を百年単位で区分する「世紀」が彼によって導入され、「紀元千年」は一〇、一一世紀の転換という「世紀の交替」に結びつけられたことが興味深いです。「世紀」による歴史の区分はちょうど彼の時代に始まったばかりでした。

しかしながら、この神話が大眾化し定着したのはフランスで、一八三〇年の七月革命の直後のことでした。これが第三の段階です。フランス大革命に続いて「旧秩序」を転覆し、市民社会を確立する「革命」の精神が確認されたまさにその時、「J・ミシュレに代表される国民主義的なロマン主義史学が「紀元千年の恐怖」を劇的なレトリックを操りながら、誇張した形で語り、幅広い読者を得たのです。「革命」

という恐怖と希望が交錯する歴史的体験は、「紀元千年」を終末論的恐怖で彩りながら新しい時代への転回点とする歴史記述を、自己の歴史の実存を正當化するものとして苦もなく受け入れたのでした。また、このころ「世紀末」「旧時代の終焉」という観念が確立したことは、さらにこの傾向を助長しました。いずれにしても、「ここに「紀元千年の恐怖」「革命」「世紀末」という一連の観念連合が成立したのです。



最後に、一九世紀の末から今世紀の中葉までは、こうした傾向へのリアクションとして、実証主義歴史学による史料の体系的吟味が遂行され、「紀元千年の恐怖」の脱神話化が行われたわけですが、最初に述べたようにそれにもかかわらず最近になってより穩健な形とはいえ、再びこの神話が復活しているのです。しかし、それは現代歴史学の新しい装いをまとっての再登場でした。一九世紀に考えられたような、「紀元千年の黙示録のパニック」という「出来事」としてではなく、当時の社会の「心性」を特徴づける黙示録的不安の現われとして、一定のタイムスパン（九八〇年から一〇四〇年頃まで）において観察しようという立場です。たしかに、この心性史版の「紀元千年の恐怖」はより受け入れられやすい緩和されたかたちの主張ですが、それでも史料によって直接には支持され得ない事柄について、なぜこうした立論がなされてきたのでしょうか。

ひとつには、G・デュビイを中心に展開されている最近の封建社会研究の流れが要請した仮説であるということと、それによれば、紀元千年前後に

フランスには巨大な社会変動が生じ、そのなかから封建社会の政治社会構造が姿を現した。つまり、「封建革命」という呼称にふさわしい構造変動があったというのです。したがって、社会の急激な変動はなんらかの心性上の表現を、不安や恐怖の感情をともなったのであり、この時代には終末論的な表現をとったということです。「ここには、革命的な社会変化には黙示録的恐怖が結びつくというアプリアリナ前提があります。そして、「紀元千年の恐怖」の神話のなかに次第に形をとった「紀元千年を軸とした革命的变化」という構図が、基本的に変わらずに生きていることがわかります。現代の封建社会研究の最先端にこの古い構図が蘇っていることは、逆にその根深さを証明していると言えましょう。さらに、デュビイの主張が一九六八年の革命の前年のこと、また今日「紀元千年の恐怖」を主唱する論者が一九六〇年代の社会革命待望の世代に属していることを考えると、一九世紀のロマン主義歴史学の場合と同じように、彼らの革命体験が神話の受容を準備したといえるのではないのでしょうか。この神話は歴史の巨大な変化のなかで「これを受け入れる心構えができてきている精神世界」(G・デュビイ)を捉えようという、そうした力を秘めているように思われます。

いずれにしても以上の概観から、「紀元千年の恐怖」は紀元千年の西欧の現実というよりは、近代になって生み出された中世イメージとして、その時々を時代を生きた歴史家の自己像が映し出されてくる鏡のようなものであった、と結論できます。



第14回アンデルセンの  
メルヘン大賞授賞式にて。  
(右)竹本さん  
(左)童話作家・立原えりかさん

## 呪文を唱えて 『もうひとつの国』へ

竹本由紀子さん 日本児童文学者協会会員 '83 経営

卒業して十八年。  
関東に就職して、四国に嫁いたので、京  
都は、思い出の地となってしまった。  
今回、思いがけず、母校から原稿の依頼  
をいただいた。

こんなわたしに、とありがたく思うと  
もに、このような広いスペースに紹介され  
ることを気はずかしく思う。

「童話を書き始めたいきさつ」「受賞の思  
い」について、語ってほしいというお話だ  
った。

そのことについて、以前、地元の新聞に  
エッセイを寄稿したことがある。

そこに、わたしの気持ちがよく表れてい  
るので、新聞社の承諾を得て、一部引用さ  
せていただく。

主婦になってから、創作を始めた。  
やはり仕事をしてきた独身時代がなつ  
かしくて。

結婚して、母親になるといふことはすば  
らしいことだが、「母」という肩書きがつい  
たとたん、子どもの行動を通してしか、評  
価されなくなるのがこわかった。

「妻」でも、「母」でもない部分が、わた  
しの中にたくさんあったから。

大きな困難を乗り越えることもたいへん  
だけれど、毎日の生活の中にいっぱいある  
小さな苦勞を、ふりはらいながら生きてい  
くことは、もっとたいへんだ。

がんばってもがんばっても、なお、くじ  
けそうになる時がある。

そんな時、わたしはペンを握った。書く  
と、いつもやさしい気持ちになった。

想いを文字にすることで、『もうひとつの  
国』への扉をひらくことができたから。

家事のかたわら、少しずつ勉強して、小  
さなお話をひとつ書いた。

コンクールへの応募は急に決めたので、  
推敲しているうちにどんどん時間が過ぎ、  
郵便局にかけこんだのは、消印有効日の五  
時ぎりぎりだった。

三月下旬、息子のおゆうぎ会があって、  
雨に降られて帰ってきたら、一通の速達が  
届いた。入賞の知らせだった。

文章は、頭で書かず、心で書く、と教わ  
ったことがある。

ほっかほかの真心こめて、胸のしんが熱  
くなるような作品を書いてみたい。

平成九年九月二十五日付

宇和島新聞「皮てんぷら」より

生きがいだった教師の仕事を辞めて、七  
年前、旅先で出逢った船乗りの夫に嫁いだ。  
愛媛の人は、みなあたたかく、もぎたて  
のみかんのようにまあるい人ばかりだった。  
でも、知った人のいない街で、孤独にた  
えて書いていたら、女神がわたしにほほえ  
んでくれた。

平成九年、『春のチョッキ』で、第十四回  
アンデルセンのメルヘン大賞入賞を、翌十  
年、『おせんべは魔法のあじ』で、第九回愛  
媛文芸協会賞をいただいた。

うれしかった。

小学校に勤めた経験があるので、学校を  
舞台にしたものも書くが、わたしは、ファ  
ンタジーがすき。

謎めいた扉のむこうがわでは、どんな心  
の解放も可能にしてくれるから。

いつの日か、題材をさがして、学生時代  
の思い出の地、衣笠あたりを歩いてみたい。  
そして、あの頃のわたしのような、こわ  
れやすいガラス細工みたいな童話を一編、  
書きあげよう。

白い原稿用紙のつたに

# 子どもたち を語る

中村 和歳



「子育て」という言葉は母親だけの役割のように矮小化されて用いられがちである。しかし「子育て」を、人類の歴史や文化、地球環境を継承し次代を創造する「地球の主人公」を育むことだと考えれば、社会生活を営む人間は誰でも、いつでも「子育て」に参加していると言えるだろう。

学校も、家庭・社会と同じく重要な教育の場であり、これらは教育の両輪である。この意味で、学校教育環境についても関心を払っていただければ幸

し、将来を創造する力を養う。多くの時間をこの活動に使い、いずれも生徒たちが自己の現状を判断・分析するための基礎となっている。すべてが総合されてバランスのよい成長につながる。情報化社会となり、年々質の高い教科指導が求められるようになって

## 教科外教育活動

生徒会活動、クラブ活動、クラス活動など。生徒たちは民主的な自治組織を企画運営することを通して、連帯・協力を学び、それは個と全体の関係を自覚する契機にもなる。

クラスが同じだから友達だと単純に言うのは三〇年前までの話である。いまは学習集団としてのクラスの力をつげるために独自の行事や遊びを企画

定めるのに役立つ。

この活動に、学校を構成しているすべての関係者(全生徒、教職員、父母、卒業生、卒業生父母)が参加する時、生徒の感動は最も大きく、教育効果も十分なものになるのだが、残念なことにはこの活動は縮小化され、上意下達の管理下に収められようとしている。子供たちを感動させるには、相当の企画とエネルギーが必要なのだが。

## 仲間作り活動

毎日の学習、生活、諸活動を通して、友情と連帯感を体験するとともに個性を自覚する。子どもたちが「クラスの力」を実感し、信頼と友情の心地よさを体験すれば、相互に働きかけて成果を上げる。その感動が魂まで届けば、生涯の友となり得るのである。

# 学校教育 基本の五活動

いである。学校教育の目指すところもまた、子どもたちが健全で逞しい心身を育むことや、自己実現に寄与する能力を涵養するのを支援すること、つまり、「地球の主人公」の育成なのだから。

さて、学校教育を構成する個々の活動は、その目的・性質により五つに分類することができる。ここでは、自立行動が著しい中等教育段階(中学校、高等学校)について述べてみよう。

## 教科教育活動

教科科目を通して生徒たちに人類の文化遺産を教え伝える、学校教育の根幹となる活動である。教科の枠を越えたテーマ(公書、生活環境、地球温暖化、地域紛争、生命、平和問題など)学際的テーマ)では、過去・現在を認識

する。仲間作りがひいては相互理解・協力につながるが、学校生活を送る上で大切な力となる。具体的には、山登り、美術館・植物園見学、歴史散歩、祭り参加、ハイキングなどである。

多くの生徒たちがこの分野の活動を通して個の成長を成し遂げていくが、中でも影響力が大きいのはクラブ活動であろう。時には「僕はクラブがあるから学校を続けられた」と告白する子もいる。ここで得られる充実感・達成感は少年期の自我を支える重要な要素となっている。

## 学校学生行事活動

全校的感動を味わう中で、集団と個人の関係を学ぶ活動である。異年齢の仲間の活動を見ることは、目標を新たに

この活動には教職員があらゆる教育活動の場で意識し、意図的に働きかけることが必要だ。もちろん、父母の協力も欠かせない。

## 各学校伝統の教育活動

各種行事や日常活動を通じてその学校の歴史・伝統を学び、気風を感じ取ることにより、希望や理想について考える活動である。

学校が以上の五つをどの程度深く用意できたか、その環境を父母も含めた教育の当事者が如何に生かし得たかが子どもたちの充実感を左右する。激動のいま、教育環境を検証し直す必要があるのではないか。

## 著者紹介

[なかむら かずとし] 1937年生まれ。61年立命館大学文学部卒。愛知県の公立中学校を経て、立命館中学・高等学校に英語科教諭として勤務、元校長。98年3月退職。

## 9

英米文学専攻の黎明と  
小誌『PLAZA』の創刊

文学部にわが英米文学専攻が開設されたのは一九五〇年四月のことで、立命館が新制大学として再出発を果たしてから二年を経た時であった。

ぼくは第四期生として編入学し、新鮮な刺激に溢れた学生生活を送った。学び舎はめくもりのある木造二階建。第二新館と称し、広小路でここだけが河原町通の東側に位置していた。夏場に窓を開け放していると、市電の響きに混じって隣の久邇洋裁学校の女生徒たちの笑いざめく声が聞こえてきた。言いようのないのかな時間が流れていた。冬の底冷えも厳しかったが、何にも増して先生方の熱っぽい講義があったので、寒さを苦痛に感じることはなかった。

第二新館(文学部棟)



ぼくらとあまり歳の違わない気鋭の方や、京大等を退官された方など、内館(英文学)・奈良本・林屋とともに日本史・橋本・白川(ともに中国文学)・笠原(哲学)といった錚々たる諸先生方の面影は今も忘れられない。正義と熱血の永原先生には、社会主義リアリズムの作品を教材にして下さるようお願いしたこともある。そういうことを自然にやれる時代であった。棕櫚・南天・山茶花・躑躅の類が雑然と植えられた中庭は、若い心を和ませた。

こんな中、三回生の夏休み明けに、一級下の川口・石田(克)・藤本の諸君から、英米文学の研究誌を刊行したいと協力要請があった。固辞し続けたが、いつの間にかぼくは編集長役回りとなっていました。

先生方に玉稿を賜り、同級生の西垣・藤田・木村の諸君にも執筆を頼み込んだ。

西村 満夫 (57文)

元本誌編集委員・(株)総合企画センター代表取締役

誌名は永原先生のご命名で『PLAZA』とし、表紙絵は経済学部の高橋 一点、谷嬢に腕をふるってもらった。日頃通いつめていた喫茶店「コンドル」や居酒屋「ふじ屋」などから広告を買って資金不足を補い、何とか発行に目途をつけることができた。

原稿のリライトを済ませ、校正ゲラと格闘していた頃には既に寒風が吹いていた。シングルベルの歌を聴きながら印刷屋の蒼穹社のおやじさんと共に最後の校正を終えたあと、屋台で一人乾杯した。こうして創刊号に陽の目を見せることができた。

この創刊号にお寄せいただいた祝辞の要旨を紹介しよう。まず永原先生は、「一人でいくら学問につきこんでみても大きな成果は上がらない。みんなで集まって論じあい、助けあってはじめて学問は前進する。そのような時代に来ているのだ」と。また大学院の英米文学専攻コース設置にご尽力された石田先生は、「文学を志す者は(未来を背負って立つすべての若者は、と置き換えてもよいのでは)とぼくは勝手に思う」立派な人格を持ち、極めて寛容で積極的な精神と謙虚な姿勢をその資格とし、非礼で狭隘、権力におもねたり、ひとを中傷するような人間には、文学はその扉を閉ざすであろう」と。今でも新鮮な響きを持つ。

あたかだった文学部棟は、四九年の竣工から一〇年でその姿を消したが、『PLAZA』はその後も続刊。英米文学を愛好する他学部の学生からの寄稿が過半数を超えたという。このことは当初考えてもみなかっただけあって、熱いものが込み上げてくる。

あれから半世紀。圧倒的に増殖を続ける科学、技術とそれに呼応する経済。社会の拡大と効率至上主義。この潮流に呑み込まれそうになりながら、確たる展望も持たないままぼくらの行き着くところに、どんな幸せが訪れるのだろうか。



『PLAZA』創刊号

今春サービス開始予定！



## ズーっと使えるRitsのメールアドレスを 校友に無料で発行します。



新世紀とともに本格運用を開始した校友会ホームページは、あっという間に延べ4万人を超える方にご覧いただきました。

インターネット・電子メールの便利さは、もはや申すまでもありません。

立命館大学でも学生一人ひとりにアドレスを割り当てていますが、従来は卒業をもってその効力は失われていました。しかし、せっかく在学中に培った“電子連絡網”が途切れてしまうのは何とも不便で、残念なことです。

そこで校友会では、**プロバイダ契約により取得された私的アドレス等をお持ちの校友の方に、ritsumeiドメインアドレスを発行**

し、そこに届いたメールをご本人が登録された転送先（私的アドレス等）まで無料で自動転送するサービスを今春開始いたします。これにより、ritsumeiドメインアドレスの発行を受けた方同士なら、立命館のサーバー内で連絡を取り合うことが可能になります。

このサービスは2001年3月新卒者から順次開始し、既卒者の皆様には5月からご利用いただける予定です。

ritsumeiアドレスさえ持っていれば、卒業後音信不通の心配は無用！

アドレス取得は校友会ホームページから簡単にできます。薫風を感じたら、ぜひアクセスを！

校友会ホームページ リニューアル情報

<http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/>

### 「OB・OGからのお知らせ」 掲示板を活用しよう！

この掲示板には、校友団体の総会案内・グループ会員募集・友人の消息探し・開店のお知らせなど、多様な内容でご投稿いただいています。

校友同士のコミュニケーションに、ぜひお役立て下さい。

#### 【投稿方法】

1. 校友会ホームページの「OB・OGからのお知らせ」ボタンをクリックする。
2. 「投稿する」ボタンをクリックすると、ユーザー確認画面が表示される（図1）。（以下3.4.は初めて投稿する場合の手順\*\*\*会員登録が必要）
3. 「新規登録ページ」ボタンから登録画面へ進み（図2）、各項目へ入力し、「確認」ボタンをクリックして登録を確認する。
4. 「ユーザー登録が完了しました」と表示された後、会員番号とパスワードの入力ボックスが出るので、入力、送信する。

5. 投稿画面が表示される（図3）。入力後、「投稿する」ボタンをクリックして完了。

#### 【入力時の注意】

名前（ニックネームを含む）・学部以外の項目は半角英数字で入力して下さい。  
卒年は西暦で入力して下さい。  
会員番号は、『りつめい』を送付している封筒の、宛名右下に印字されています。昭和卒の方はアルファベットと数字が混在した8桁、平成卒の方は数字のみ11桁が番号です（印字上段のみ）。  
パスワードは半角英数字で、覚えやすく他人に推測されにくいものを各自お決め下さい。

図 1

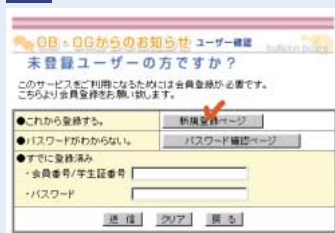


図 2

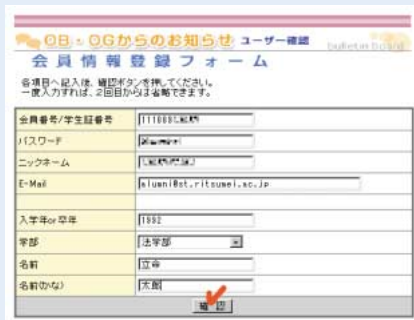
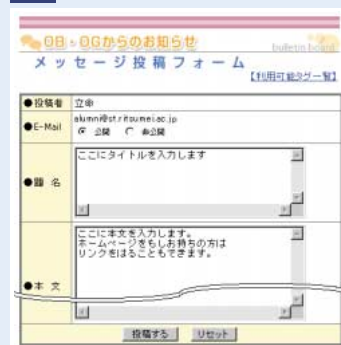


図 3



F u k u i

福井県校友会



福井県校友会総会と懇親会は二月二日(土)、福井パレスホテルで開かれました。安藤次男国際関係学部長、高木茂太市校友会副会長、志垣陽校  
友課長、加納裕石川県校友会会長、児玉弘毅同幹事長、坪井新一郎富山県校  
友会長が来賓として出席され、県校友一〇名が参加して盛大に開催され  
ました。

はじめに全員で初代会長故寺本純治氏へ黙祷を捧げ、懇親会は、石川・  
富山両県会長のご挨拶、校友スピーチなどで進み、また志垣課長のスライ  
ドによる大学の現況説明はわかりやすく好評でした。

福井県校友会が総会ごとに発行している会報「立命館」も一五号となり

ました。この会報はどの大学にもない立派  
な出来ばえだと自負しています。

さて、近年の母校学生の活躍はめざまし  
く、スポーツその他の素晴らしい成果でマ  
スコミにも大いに取り上げられています。  
県内でも一月の北陸女子駅伝(福井テレ  
ビ主催)で立命館大学は好成績で入賞、県  
校友会より激励賞をお渡ししました。後輩  
の活躍はわれわれ校友にとっては大きな喜  
びであり誇りです。立命館大学がますます  
活気ある、国民に親しまれる大学へと発展  
していったらいいと願っております。

「58文 古村隆一・記」

O s a k a

大阪府職員校友会

去る一月二日(水)平成二年度総会  
を開催。当会は大阪府職員校友会と称してお  
りますが、府庁職員、府立学校教職員及び府  
警察職員による構成としております。

校友が多数であるがゆえに小回りし親密度  
において悩ましく、ひとりひとりが校友会そ  
のものに対して親近感をどれ程に抱いている  
のだろうか?というところが私たち事務局の率  
直な思いです。

年に一度の大阪校友会大会への参加と私た  
ち独自の総会が活動の中心となっているので  
すが、今後はゼミナルならぬ小集団活動に  
も力を注いで参りたいと思っております。そ  
れは個々の校友に「校友会はいいな!」と感じてもらいたいからです。

今ひとつは、私たちの校友会の名称が大変長いので、愛称的な新名称に  
することです。いろいろと考えているのですが、グッドネーミングが未だ  
に浮かんでおりません。びつたりの名称で装いも新たに、が私たちの望み  
です。



「71法 藤田啓文・記」

M i y a g a i . Y a m a g a t a

宮城県・山形県校友会

宮城県校友会総会、懇親会は二月  
一日(金)仙台ガーデンパレスにおい  
て開催されました。第三回の今年は  
初めての試みとして、山形校友会との  
合同開催とし、岩手県校友会・福島県  
校友会・秋田県校友会の方々にも賛同  
いただき出席者は七〇名と盛会でした。  
当日は大学から長田総長、安田校友会  
常任幹事会副議長、志垣校友課長が出  
席され、学園創立一〇〇周年、立命館  
アジア太平洋大学開学等、学園の近況  
をお話しいただきました。

第二部の懇親会では奥山山形校友会  
長による乾杯の首頭を皮切りに和やか  
なムードのなかには校友の皆さんが話し  
に花を咲かせていました。今後の校友  
会活動のあり方としては、東北ブロッ  
クのな定期的  
の会合や他  
県校友会と  
の相互の交  
流なども必  
要ではない  
かとの声も  
大分きかれ  
ました。



懇親会の  
目玉はやは  
り昨年から  
始めたピン  
ゴゲームで  
今年も景品  
は全部校友  
からのご好意に甘えました。特に組立  
式自転車(66法・石本春彦さん提供)  
は注目の的、初参加の佐々木真理さ  
ん(95法)が手に入れ早速乗って帰  
りました。懇親会の最後は埼玉県校友会  
幹事嵯峨瞭さん(62経済・元宮城県支  
部幹事)のリードで校歌、応援歌を合  
唱し閉会となりました。

「62法 大沼久明・記」



T o k y o

## 東京校友会



平成12年度 立命館大学東京校友会  
校友大会・ミレニアムパーティ

学園創立一〇〇周年の昨年は、東京校友会も「大分・別府ツアー」、「新人歓迎会」、「秋の行楽イベント」、そして定例の大会等々を行い、実り多い一年であった。

二〇〇〇年度東京校友大会（総会）は一月九日（日）、品川プリンスホテルにて開かれた。河原四郎校友会長をはじめ過去最高の総勢二三五名が集う盛会だった。

「トークショー」では、俳優で校友の長門裕之氏がメインゲストとして登場。芸歴六〇年の「人生論」を語られ、参加者を魅了された。また、特別ゲストのシドニーオリンピックシンクロナイズト藤井采夏さん（'97経営）とも、息のあったスポーツ談義を展開された。「ミレニアムパーティ」は、タレントのミニライブでの歌と踊り、参加者全員によるゲーム等で、大盛況となった。

これまでの総会・懇親会とはひと味違う「校友大会・パーティ」として、「老・壮・青」一体感のある集いとなり、校友の世代を超えた交流が結実したといえよう。

二月一六日（土）には「Rits Xmas Party」を六本木のグリグリア・バックスカフェで開催。若手幹事の奮闘によって、参加者八四名が、ゲストの元F1レーサー・鈴木亜久里氏との交流など大いに楽しんだ。初開催であったが大変好評で、ここからの年中行事となると思われる。

「68法 野口政憲・記」

O i t a

## 大分県校友会

大分県校友会は二月三日（祝）、当地に開学になった「立命館アジア太平洋大学」において二〇〇〇年度総会を開催しました。県内在住校友、坂本和一学長をはじめとするアジア太平洋大学教職員の方々、そして留学生の皆さんも加わり、総勢一〇〇名が和やかな一時を過ごしました。校友会本部からは西村義行常任幹事会副議長、志垣陽校友課長をお迎えしました。

民族色溢れる華やかなステージを繰り広げてくれた留学生諸君との歓談は楽しいものでした。同時に、地元大分県別府の地に母校立命館の新拠点がこのようにグローバルな形でつくられるという、数年前では思いもしなかったようなことが、いま実現していることを肌で感じ、新たな喜びが湧いてまいりました。

今後もアジア太平洋大学を支えつつ、われわれ大分県校友会も発展を目指してまいります。

「大分県校友会事務局・記」



S h i z u o k a

## 静岡県校友会

二〇〇〇年度の静岡県校友会総会が、二二世紀を目前にした昨年二月三日（日）、富士山のふもと富士市のホテルグランド富士で開催されました。今回、県東部在住校友の組織として新たに「富嶽会」が発足し、その設立総会も合わせて行われました。

集まった校友は、約九〇名。とりわけ、関西圏への大学進学者は少数派の県東部地区の校友は、これまで早慶などの校友会活動を耳にするに付け、寂しい思いをしていましたので、一日千秋の思いでこの日が来るのを待ち望んでいました。



総会では、県西部の浜松会、中部の駿府会、そして東部の富嶽会から活動報告がなされ、県校友会の会則を定めた後、最近の目を見張る母校の様子をビデオに紹介いただきました。続く記念講演の講師はマスコミでも活躍の千代田邦夫経営学部長。「会計ビックパンについて」というテーマに、果たして錆付いた頭脳が耐えられるかと

心配しましたが、千代田先生の分りやすい話に引き込まれ、いつしか気分は以学館でした。

また懇親会では、躍進する母校の最近の活動にエールを送る一方で、一人一人の胸に深く刻まれている立命館の思い出や熱意が披露されました。立命館のイメージがなぜか富士山とオーバーラップしたのは、私一人ではなかったように感じられました。

「78産社 鈴木孝治・記」

## 立命館ファミリーカード会員募集!

## 立命館ファミリー-VISAカード

ファミリーカード固有の機能に加えて、以下の特典も受けられます。

お得

プライムクラブ加盟店で5~20%特別割引  
市外通話16~20%割引  
国際通話も格安  
長崎のハウステンボスでお得なご優待  
アウトレットショップでもさらにお得なお買物

便利

高速道路の料金所もスピーディにパス  
フリーダイヤル1本で国際線航空券、海外ホテルを手配  
ご希望のチケットを電話1本でご予約、お届け  
国内リゾートホテルにご優待

安心

世界中で日本語のサービス&サポート  
カードの紛失・盗難の際も安心  
カードで購入された商品の万を補償  
リボ払いのご利用でさらに安心  
ニューヨークでハワイであなたの旅をお手伝い  
国内で海外で現金をご用意

VISAカード 世界中で信頼がいきるカード

VISAカードA 便利さに安心をプラスした保険付きのカード

VISAゴールドカード より快適な人生を過ごしたい方にふさわしいカード

年会費等のご案内(すべて消費税別)

	VISAゴールドカード	VISAカードA	VISAカード
本会員	10,000円	1,500円	1,250円
家族会員	1人目は無料 2人目からは1名につき 1,000円	550円	400円
お申し込み 資格・対象	30歳以上、年収500万円以上で勤続(自営業の方は営業)年数5年以上	20歳以上の 安定継続収入のある方	20歳以上の 安定継続収入のある方

## 立命館ファミリー-JCBカード

ファミリーカード固有の機能に加えて、以下の特典も受けられます。

国内サービス

全国45カ所のリゾートが特別料金  
映画館でも割引料金  
全国40万店以上で使える  
すてきなプレゼントをご用意  
あらゆるシーンで活躍

海外サービス

世界50都市であなたをサポート  
JCBお得な海外情報パンフレット

JCB一般カード

多彩な機能とサービスを兼ね備えた、  
便利でお得なカード

JCBグランドカード

ショッピングにも旅行にも保険がついた、  
お得に安心をプラスしたカード

JCBゴールドカード

ゴールドカードの名にふさわしい価値を備えた  
国際カード

年会費等のご案内(すべて消費税別)

	JCBゴールドカード	JCBグランドカード	JCB一般カード
本会員	10,000円	2,500円	1,250円
家族会員	3,000円	1,000円	400円
お申し込み 資格・対象	<JCB会員になられている方> 原則として30歳以上、 JCB入会歴3年以上、利用 実績のある方でJCB会員 規約を遵守されている方 <JCB会員になられていない方> 年齢30歳以上、年収 500万円以上で勤続年 数5年以上(自営業の方 は営業年数10年以上)	20歳以上の 安定継続収入のある方	18歳以上の 安定継続収入のある方

ときめきの宿 ふるさとネット TEL. 0725-56-2480

下記の宿が2001年1月1日より入会されました。

鳥羽畔蛸 料理旅館西村屋  
三重県鳥羽市畔蛸町144TEL.0599-33-6143  
1泊2食 8,000円より(税別)

アクセス 近鉄線鳥羽駅よりバス30分(送迎あり)

天橋立 片岡民宿  
京都府宮津市江尻146TEL.0772-27-0164  
1泊2食 7,500円より(税込)

アクセス 北近畿タンゴ鉄道天橋立駅より定額12分-の宮徒歩3分

赤山高原 ペンションさかた  
岡山県真庭郡川上村上福田1205-241TEL.0867-66-2515  
1泊2食 9,000円より(税別)

アクセス JR伯備線根雨駅より車30分(送迎あり)

優待店からのお知らせ 小倉ガーデンホテル紫川 2001年5月に閉店致します。ご利用ありがとうございました。

優待店加盟のお申し込みも随時受付けております。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

立命館ファミリーカード  
お申し込み・お問い合わせ先〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28  
(株)クレオテック「立命館ファミリーカード」係  
TEL 075(463)9197 FAX 075(465)5697通信販売  
お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353

京都市北区平野上八丁柳町28

(株)クレオテック

「ショッピングリベルテ通販」係

TEL. 075(463) 9740

FAX. 075(465) 5697

立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

[ 立命館オリジナルグッズ ] 通 信 販 売

立命館アジア太平洋大学顕彰記念ロゴ入り  
ゴルフボール



ダンロップ社製  
DDHツアースペシャル  
1ダース(12個)

立命館ファミリーカード会員価格

¥3,600 (税別)

一般価格

¥3,900 (税別)

国産天然羊革使用 ゴルフグローブ



素 材 : 天然羊革(ベビラム)  
サイズ : 19cm - 27cm  
カラー : 白, 黒 右打ち用(片手)

立命館ファミリーカード会員価格

¥2,000 (税別)

一般価格

¥2,300 (税別)

オリジナル  
Tシャツ・トレーナー



Tシャツ(写真左)トレーナー(写真右)

トレーナーのみ▶  
RITSマーク登場!

<Tシャツ>

サイズ : M, L  
素 材 : 綿100%  
カラー : 白

<トレーナー>

サイズ : M, L  
素 材 : 綿100%  
カラー : アッシュグレー

立命館ファミリーカード会員価格

Tシャツ  
¥1,500 (税別)

トレーナー  
¥3,000 (税別)

一般価格

Tシャツ  
¥1,800 (税別)

トレーナー  
¥3,300 (税別)

『立命館百年史』  
第一巻資料編を刊行



▲立命館百年史

『立命館百年史』第一巻通史編に続いて、このほど『立命館百年史』第一巻資料編が刊行されました。諸資料760点、諸統計を含めて全1,818頁の大部のものです。資料の収録範囲は、立命館創始の1869(明治2)年から終戦の1945(昭和20)年までの期間です。

学祖・西園寺公望と学園創立者・中川小十郎との関係資料をはじめ織田萬、小西重直、山座円次郎、未弘威麿等々学園関係者のいまままで未公開であった資料も数多く収録されています。

『立命館百年史』第一巻資料編を購入ご希望の校友は、特別価格11,000円(税込)(別に送料650円)で頒布しています。なお、『立命館百年史』第一巻通史編も残部がございます。特別価格5,000円(税込)(別に送料650円)で頒布していますので、購入されていない方はこの機会に併せてご一読されることをお奨めします。

お詫びとお知らせ

(株)クレオテック

前号の「りつめい」No.203におきまして、グッズ申し込み用のFAX番号が誤っておりました。皆様にご迷惑をおかけしましたことを心から深くお詫び申し上げます。

正しいFAX番号は **075(465)5697** です。

前回の案内でメモリー登録などされている場合は訂正をお願いいたします。

なお、FAXでのお申し込み後、1ヶ月以上経ちましても商品が届かない場合は、恐れ入りますが、弊社ショップリベルテ通販係までおたずねください。



1994年から、卒業生の皆様を始め多くの立命館関係者の要望に応え「立命館ファミリーカード」が発行されています。

このカードは、オール立命館のネットワークづくりの一端を担い、皆様方相互の、また皆様方と学園の絆をより一層緊密なものとするを目的としたものです。

「立命館ファミリーカード」は、住友VISAカードとJCBカードの機能に「立命館ファミリーカード」の固有の機能が加わった立命館の卒業生、在校生、教職員そしてそのご家族の皆さまのためのカードです。校友の方々を中心に多方面から多彩な優待・サービスの提供をいただいております。カードを通じてすてきな出会いが生まれ、新たな絆が結ばれることを念願しております。ご希望の方には優待店一覧をさしあげます。また、「立命館オリジナルグッズ」の会員価格サービス等々独自のサービスも提供しております。どうぞご利用ください。

新世紀を迎え、皆様方に愛着をもってご利用頂けるよう、なお一層努力してまいりますので「立命館ファミリーカード」をよろしくお願ひ申し上げます。

立命館ファミリーカードは提携手数料収入の20%を後輩のための奨学金に当てます。

もちろん会員の方の特別のご負担はありません。

[ 立命館オリジナルグッズ ] 通 信 販 売 お申し込みのご案内

**お申し込み方法** ハガキまたはファックスに、住所、氏名(フリガナ)、年令、電話番号、立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限、商品名、サイズ、数量、金額、お届け先をご記入のうえお申し込みください。

**お支払い方法について** 立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いがご利用いただけます。お申し込み時に必ず明記してください。一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。値段は税抜き価格です。消費税は別途申し受けます。

**お届けについて** 商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

**送料について** ご注文毎に1ヶ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

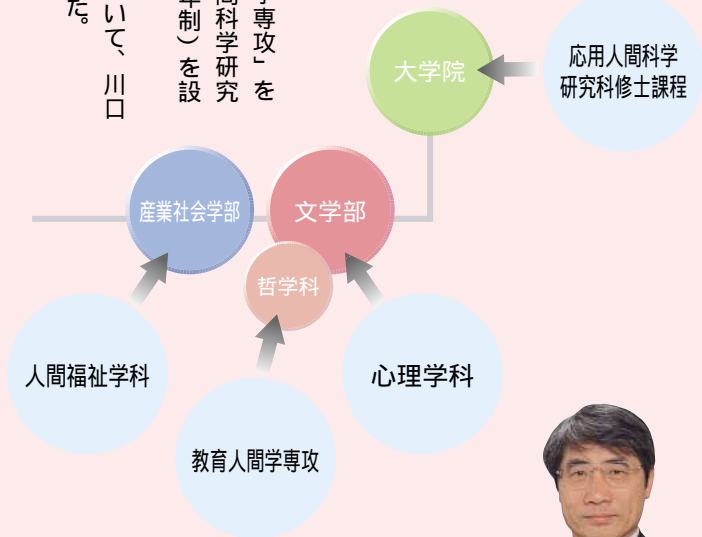
# 福祉・心理・教育関連の学科・研究科等の新設にあたって

今、多くの福祉や医療の現場ではもちろん、民間企業でも「人のこころ」や「人間福祉」について豊かな知識を有する人材が求められています。

このような社会の要請に応えるべく、立命館大学では二〇〇一年四月より産業社会学部に「人間福祉学科」（入学定員二〇〇名）を、文学部に「心理学科」（入学定員一五〇名）を新設します。

また、文学部哲学部に「教育人間学専攻」を設け、大学院にも新たに「応用人間科学研究科修士課程」（入学定員六〇名、二年制）を設置します。

そこで、それぞれの魅力や特徴について、川口清史教学部長にお話をうかがいました。



川口 清史 教学部長

まず福祉・心理・教育という新しい領域を切り拓いていこうという背景は何ですか？

福祉・心理・教育分野の連携・融合をめざした人間科学分野の教学展開は、人間を大切にし、人間らしい生き方を希求するという社会の要請に積極的に応えるものとして、大変重要な意義を持っています。本学では、従来からこの分野を強化し、産業社会学部や文学部、社会人向け講座等の展開の中でこれらの課題に伝えてきました。今後の社会状況や福祉・教育等をめぐる状況に一層積極的に対応して、新たな学科等を設置することで、社会的ニーズに応えると同時に、学部・学科の垣根を越える教学の創造を目指す学部改革の貴重な一歩にもなると位置付けています。

それでは、産業社会学部人間福祉学科の特徴を教えてください。

二〇五〇年、総人口のほぼ三人に一人が六五歳以上の高齢者に——現在、日本は超高齢社会に突き進んでいます。また近年の社会環境・生活環境の急激な変化は新しいストレスを生み出し、従来の「福祉」の考え方に収まりきらない多様な人々が複雑な問題を抱えるようになってきました。人間福祉学科では、





次に、文学部心理学科の特徴を教えてください。

心理学は、「こころの科学」「行動の科学」として確立されてきた学問です。心の働きと行動が、個人の内部条件や外部の環境条件によって、どのように生じ、変化し、結末をつけるかについて実証的に説明し、一般化された法則性を見出すことが必要です。心理学科では、これまでの基礎心理学領域での実績に加え、応用・実践・臨床的領域への寄与を視野に入れ、基礎と応用の積極的な連携をはかります。具体的には、心理学関

人間と福祉を総合的な視点で捉え直し、新しい解決策を提示することを目指しています。

最先端の福祉研究成果に基づいて明確な理論を培っていく一方、アクティブラーニングを重視し、福祉現場での実習を積極的に展開します。また全員が社会福祉士の国家試験受験資格取得を目指します。「福祉環境」「福祉マネジメント」「発達臨床」の三つのプログラムを設定し、単に福祉分野の臨床的技術を修得できるだけでなく、「人間」について福祉の側面から総合的に学べるのが大きな特徴です。

進路としては、行政、社会福祉法人、民間企業、NGO、NPOを問わず、広く福祉分野への進出が考えられます。特に都市計画・福祉計画分野、ソーシャルワーカー、福祉施設のプランナー・コーディネーター、臨床心理士、カウンセラー等の職務に就くことが期待されます。

連分野の基礎の上に「認知・情報」「障害発達」「人格・社会」「行動・環境」といった心理学分野の専門科目と応用的科目を学びます。「実験・実習」「研究法」「演習」では、実証科学的手法の修得を目指します。

進路としては、教育職や大学院進学等によるカウンセラー・臨床心理士等に加えて、企業の二丁調査や分析、部屋や空間のデザイン、企画営業などといった人と接する職種等、多くの分野が考えられます。また実験・実習やデータ解析を通して修得したコンピュータ・リテラシーは、心理学に限らず多くの場面で役立ちます。

併せて開設される文学部哲学科教育人間学専攻の特徴は？

いじめや少年犯罪の増加、学級崩壊などの教育問題が深刻化する中で、小・中学校にスクールカウンセラーが配置され、さらに増員が強く求められています。直接教育に携わる教員はもちろん、教育に関する専門知識をもった人材、教育に関する問題を理解し、解決策を提示できる人材が今後ますます求められます。教育人間学専攻では、真の「こころの教育」のあり方を明らかにするとともに、スクールカウンセラーをはじめとする優れたこころの教育の専門家養成を目指しています。本専攻では「人間形成」「臨床教育」「心理健康」という三つの履修プログラムを用意し、系統的かつ横断的に「教育人間学」を学び、教育に携わる人間に必要とされる幅広い知識と技能を養成します。

進路としては、スクールカウンセラーや臨床心理士、中学校・高等学校の教員、さらに人間の心についての豊かな理論的・実践的知識を有する人材が求められている福祉・医療、マスコミ、一般企業、NGO・NPO等の幅広い分野への進出が期待されます。

【人間科学分野新領域への教学展開】

福祉・心理・教育関連の学科・研究科等の新設にあたって

## 2001年4月からの理工系の教学改革

## ▶ 最先端科学技術を担う

## 理工学研究科フロンティア理工学専攻博士課程

入学定員20名、5年一貫制

欧米先進国へのキャッチアップ時代から、自ら未踏の科学技術分野に挑戦する独創性、創造性、問題解決力、グローバル化とリーダーシップを持った個性ある人材の養成が求められる時代になってきました。そうした要請に応えて、フロンティア理工学専攻では、ハイテクリサーチや学術フロンティアをはじめとした産官学連携で積み上げてきた研究成果と研究の過程を大学院教育に結び付けていくという日本の大学院教育における新しいモデルを構築します。具体的には、研究プロジェクトの中から、特徴的で新規性・独創性に富んだプロジェクトを選択し、はじめの3年間の研究で専門性を高めつつ、連続した2年間で分野間に横断的に切り込み、柔軟に境界領域、応用領域の開拓を展開できるトランスディシプリナリーな才能をもつ問題開発型人材の育成を目指します。

研究プロジェクト・テーマとしては、例えばナノ・メゾ領域の科学、光・電子融合エレクトロニクス、マイクロシステム、バイオサイエンス、環境流体工学、高度コミュニケーション、数理科学などが想定されます。

## ▶ IT社会を支えるために

## 理工学部電子光情報工学科(光工学科より名称変更)

電子技術と光情報技術との融合 - そこから未来のIT(情報技術)社会を支える新しいテクノロジーが生み出されます。電子光情報工学科では、電子工学に基礎をおきながら、電子工学と光工学の基礎から応用までを体系的に学べるように、「光情報システム」(光情報通信、光ファイバー、ディスプレイ、画像工学等)「電子光システム」(レーザー、光計測、光制御、光造形等)「電子光デバイス」(太陽電池、光センサー、CCD、マイクロ波デバイス、光電子材料等)の3分野を柱として教育と最先端の研究を進めます。

さらに大学院でも応用人間科学研究科  
応用人間科学専攻修士課程を  
新設しますが、その特徴は？

応用人間科学研究科は、対人援助に関する分野を横断する学際領域を研究対象とする独立研究科です。「ヒューマン・サービス」の高度な専門知識と実践スキルをもつ人材を養成し、この分野の研究を推進していく大学院(修士課程)です。

具体的には、高度な専門知識と技能を有する対人援助プロフェッショナルである、ソーシャルワーカー、ケースワーカー、心理臨床専門家、各種カウンセラー、教員、ケアマネージャーなどの育成をはかります。また、研究面では福祉援助、臨床心理、教育臨床、行動分析、人間発達、家族関係をはじめとする人間科学諸学の

「融合と連携」をはかり、新たな対人援助の実践  
学の創造を目指しています。

対人援助という場合、直接的な対人援助活動  
だけではなく、援助者の援助(ケアする者の  
ケア)、援助システム構築(社会や地域などに  
おける環境形成)という広がりの中で対人援  
助実践をとらえることが重要だと考えていま  
す。自己決定、権利擁護、共生、エンパワメン  
ト、ライフデザイン、ノーマライゼーション、  
QOLなどの対人援助の基本概念に検討を加え  
ながら、さらに実践を進める組織的活動それ自  
体を客観化し、そこでの倫理問題、直接援助と  
その思想、援助者の援助の必要性、援助システ  
ム構築という複合的な層として対人援助をとら  
え、「臨床の知」という学問へと展開していく  
ことを目指しています。社会人入試も重視して  
います。

# We are energetic.

学生達の様々な活動や学生支援の取り組みを紹介します!



## 産業社会学部学生が 「高齢者の主張」コンクールを企画・実施!

産業社会学部の芝田英昭助教授の「福祉政策論」の授業では、学生達が「高齢者の主張」コンクールを企画しました。「世代(とき)の掛け橋」と題するこの企画では、全国の65歳以上の方々から若者に伝えたいことについての原稿を募り、応募作品の中から8作品を選考し、2000年12月14日(木)に以学館2号ホールでコンクールを開催しました。

応募作品は、北は山形県、南は沖縄県から50通寄せられ、当日の発表者の8名も、栃木県や広島県等からお越しいただきましたが、戦争体験や趣味と生きがい、若者への注文や激励、介護保険の問題など、どの作品もそれぞれの人生を踏まえた貴重な内容でした。

約250名(うち学生は約160名)が参加したコンクールでは、最優秀賞に坂本恵一氏(東京都)の「怒りをこめて振り返れ - 生きること、

闘うこと - 」が選ばれました。参加学生は「高齢者の方々が日頃どのような思いを持っているのかはじめてわかった」「人生の数だけ主張があるのだと感動した」といった感想を述べていました。



## びわこ・くさつキャンパスで 学生「ベンチャー」の動きが活発!

「文理融合」を目指すびわこ・くさつキャンパスでは、既に6組ほどの学生起業家(15名程度)が誕生している。会員制のコミュニティサイト運営やオンライン広告代理店業・顧客満足度調査等に取り組むある企業では、東京にも営業所を構えるなど積極的な活動を展開しています。また、学生起業家の養成やインキュベーションを目的とした「ベンチャービジネス・コミュニティ」(VBC、40名程度)が学生によって自主的に組織されています。学外の「ビジネスプランコンテスト」にも、本学学生・大学院生が積極的に参加しており、既に様々な賞を受賞し、奨励金等を獲得しています。



大学としても学生達のそうした取り組みを支援するために、学生インキュベーションルームや学生サイバーティールーム(仮称)の設置、「インキュベーション事業推進委員会」の立ち上げ等、起業家の卵達の交流の場を設定したり、ビジネスプランコンテスト等への参加奨励など、様々な支援に取り組んでいます。



## 産業社会学部1回生による 「京都文学探偵団」の取り組み

産業社会学部のリム・ボン助教授の基礎演習では、「京都文学探偵団」と称してユニークな取り組みを行いました。学生達が京都を舞台とした文学作品約180点をリストアップし、その中から15作品(木谷恭介氏の「京都渡月橋殺人事件」、梶井基次郎氏の「檸檬」、童門冬二氏の「新撰組」等)を選び、学生の各グループがその舞台をフィールドワークとして訪ね歩き、聞き取りやイラストマップの作成を行いながら、まちの変容や京都の特徴点等を分析し、その研究成果を独自の京都観光案内としてまとめました。サブタイトルは「文学作品にみる京都の都市空間に関する研究」(非売品)で、300頁を超える大作となっています。



# Campus Topics

キャンパス\*トピックス  
DECEMBER, 2000 — JANUARY, 2001

## 国際関係学部オープンゼミナール

(2000・12・1)

企業・国際機関等の人事担当者を中心に参加を呼びかけ、国際関係学部学生の「学び」を企業にアピールしようと、三回生代表ゼミによるプレゼンテーションを行うオープンゼミナールを実施した。各ゼミから



選出された「ブレイスメントリーダー」(就職活動をリードする役割)有志からなる「学生運営委員会」が企画・運営のすべてを担い、発表は事前選考会で選ばれた上位五ゼミ

## シンポジウム「学生主体の授業創造」

(2000・12・6)

未川記念会館ホールにおいて、大学教育

開発・支援センター主催のシンポジウムが開催された。「参加型授業とは何か」をテーマに、林義樹教授(武蔵大学)、長谷川伸教授(関西大学商学部)、中野雅博教授(本学国際関係学部)による問題提起、実践報告、模擬授業が行われた。



## 第四七回不戦の集い

(2000・12・7) 8

二月七日にはBKCにおいて、嵐の中の母子像前集会、八日には衣笠で「わだつみ像前集会」が行われた。総長、学友会中央常任委員長等が挨拶を述べ、献花を行う中で、学生・教職員等の学内



各構成員が戦火に散っていった戦没学生や世界の戦争犠牲者の死を悼み、不戦の誓いを新たにす。八日夕方には、BKCブリズムホールにて「PEARL」二人の「沖縄人」の見た戦争」と題して、報道写真家の石川文洋氏、作家の灰谷健次郎氏による講演会が行われた。また、四日、一日の期間中に関連企画として、映画「GAMA月桃の花」上映会、石川文洋写真展も両キャンパスで行われた。

## 立命館大学国際シンポジウム

(2000・12・8)

国際教育・研究推進機構主催による国際シンポジウム「Towards Lasting Peace on the Korean Peninsula 朝鮮半島の真の平和に向けて」が開催され、約一五〇

名が参加した。パネリストは、スコット・スナイダー氏(アジア財団韓国駐在代表)、夏立平氏(上海国際戦略研究所教授)、ラルフ・コサ氏(パシフィック・フォーラム主任ディレクター)等。



## 第三回「アジア太平洋懸賞論文・作品大賞」表彰式

(2000・12・16)

立命館アジア太平洋大学において、標記表彰式が行われた。今年度は五四九点の論文・作品が寄せられ、大賞一点、優秀賞六一点、佳作一〇点、入賞三〇点、学校賞三校が選ばれた。

テーマは「アジアの貧困問題」、「東ティモール」、「環境」等の時事問題から、スポーツ大会の取材レポート、海外旅行記などで、論文の他にビデオ、詩、エッセー等多様な表現手段が用いられていた。大賞は、アジアの貧困問題を取り上げた高知卓土佐女子高校三年、坂本侑奈さんの「私の行く道」。



## 講演会・ディスカッション等「Career Survival」が変だよ内定術(フニアル)企画

(2000・12・16)

本学法学部ジュニアアドバイザー(内定を得た四回生の就職支援グループ)、学生団体「Kai Kansai」合同企画として、川





行われた。「目先の就職活動ではなく、日頃から能動的に動き、アンテナを高く掲げ、情報を収集し、自分を見つめ直しかつ自分の将来を考えるというプロセスの重要性を再確認する」ことを目的としたもの。

上真史氏(ワトソンワイアット(株)コンサルタント)の講演会、企業六社によるパネルディスカッション、インターネット活用プレゼンテーション、企業とのフリートーク等の企画が大阪オフィスで

アート・リサーチセンター映像鑑賞会  
「二一世紀に残す祇園名妓抄  
松本佐多女の映像を中心に」  
(2000・12・18)

以学館二号ホールにおいて、松本佐多女(四世井上八千代の後見役を務めた舞の名手)映画鑑賞会および講演「茶の湯立礼式の誕生」(講師・国立民族学博物館・熊倉功夫教授)が行われた。会場には井上流の師匠や祇園芸妓も含めて、約二〇〇名の参加者が集まった。



女子就職講演会「二一世紀に輝くあなたへ」ザ・ボディショップ蟹瀬令子社長からのメッセージ」  
(2000・12・20)

以学館一号ホールにおいて、女子学生キヤリアディベロップメントプログラムの一環として、全回生女子学生対象の講演会を行った。蟹瀬社長からは、これまでのキャリアと人生、イギリスで女性社長が創業し

た経緯や社会での女性の活躍。さらには女子学生自身の生き方についてのアドバイス等が話された。参加した二五〇名の女子学生は講演に熱心に聞き入り、質問も活発に飛び交っていた。



国際課税京都フォーラム  
第三回シンポジウム  
「電子取引と国際税制」  
(2001・1・25)26)

経団連ホール(東京都千代田区)において、標記シンポジウムを開催した。ジョセフ・H・グッテンターグ氏(米国連邦財務省前財務次官補、OECD財政委員会前議長)、竹内洋氏(大蔵省大臣官房審議官(主税局担当))による基調講演「経済の電子化に対する税制のあり方」、IT革命下の租税制度「事例から見る国際課税の論点」電子取引、所得課税を中心に「電子取引に対する消費課税のあり方」等のセッションが行われた。

立命館宇治高等学校 陸上部女子  
全国高校駅伝 初優勝



昨年12月24日に行われた女子第12回全国高等学校駅伝競走大会で、京都府代表・立命館宇治チームが悲願の初優勝を果たした。

1区で2位につけ、その後は北野有紀(2区)・阪田直子(5区)の両選手が区間賞に輝くなど最終5区まで1位を守る堂々の走りであった。沿道のファンや応援にかけつけた立命館関係者は大いに沸いた。

選手たちは、1月6日の立命館「新年祝賀の集い」に川崎昭治校長・荻野由信監督とともに出席、壇上で優勝報告をした。応援に対するお礼の言葉と今後またゆめめ努力を続ける決意を表した選手たちに、学園関係者から改めてあたたかい拍手がおくられた。



学生団体の動き

将棋研究会 完全優勝!

第三一回王座戦・全日本学生将棋団体対抗戦(二〇〇〇年二月二〇〜二二日、全日本学生将棋連盟主催)で完全優勝!

馬術部

世界大会団体優勝に貢献!

世界学生馬術選手権大会(二〇〇〇年二月二九日〜二〇〇一年一月一日、ルクセンブルグ)で日本チーム(代表三名中二名が本学学生)が団体優勝!

ロボット技術研究会

世界大会出場決定!

NHKロボットコンテスト大学世界大会(二〇〇一年三月四日、福島県ビッグパレットふくしまにて開催)に出場決定!

《退職教職員紹介》

ますますの  
健康と  
ご活躍を！

2001年3月をもって定年退職  
される教職員をご紹介します。  
感謝の意を表したいと思います。

(紙面の都合上、経歴は大学教員の  
み紹介します。敬称略。)

教授

元法学部長・理事  
法学部教授

中谷 猛(なかに たけし)

一九三五年九月二日生まれ  
一九六一年三月 同志社大学文学部文化  
学科卒業

一九六四年九月 同志社大学大学院法学  
研究科修士課程修了

一九六八年三月 同志社大学大学院文学  
研究科博士課程修了

長崎造船大学助教授を経て

一九七五年四月 立命館大学法学部教授  
\* 法学部長、法学部調査委員長などを  
歴任

\* 専門/研究テーマは、西洋近代の政治  
思想/西洋の近・現代政治思想とナシ  
ヨナリスムの関連性

経済学部教授

小野 進(おの すずむ)

一九六〇年一月四日生まれ

一九六〇年三月 大阪外国語大学中国  
語学科卒業

一九六二年三月 京都大学大学院経済  
学研究科修士課程修了

一九六五年三月 京都大学大学院経済  
学研究科博士課程単位取得退学

一九六五年一〇月 立命館大学経済学  
部専任講師

一九六九年四月 立命館大学経済学部  
助教授

一九七五年四月 立命館大学経済学部  
教授

\* 経済学部調査委員長などを歴任

\* 専門/研究テーマは、経済学・一般理  
論/「準市場(Quasi-Markets)」の経  
済学から、中国の経済発展の研究へ

元経済学部部長・理事  
経済学部教授

杉野 因明(すぎの くにあき)

一九三六年三月二五日生まれ

一九五八年三月 九州大学経済学部卒業

一九六一年三月 九州大学法学部政治  
学科中途退学

一九六三年三月 九州大学大学院経済  
学研究科修士課程修了

一九六六年三月 九州大学大学院経済  
学研究科博士課程単位取得退学

一九七〇年四月 立命館大学経済学部  
助教授

一九七六年四月 立命館大学経済学部  
教授

\* 経済学部部長、経済学研究科長、地域研  
究室長などを歴任

\* 専門/研究テーマは、経済学一般理  
論/地域経済理論の創造的研究

経済学部教授

鈴木 登(すずき のぼる)

一九三五年八月二九日生まれ

一九六〇年三月 慶応義塾大学経済学  
部卒業

三菱製鋼株式会社 財団法人三菱経済

研究所、株式会社三菱総合研究所を  
経て

一九八〇年四月 立命館大学経済学部  
教授

\* 経済学部調査委員長、計算機センター  
所長などを歴任

\* 専門/研究テーマは、経済学・一般理  
論/近代経済理論の主要動向およびそ  
の方法論的基礎と実証的研究

産業社会学部教授

木津川 計(きつがわ けい)

一九三五年一〇月二二日生まれ

一九六四年三月 大阪市立大学文学部  
社会学科卒業

あゆみ印刷工業社を経て  
一九八四年四月 立命館大学産業社会  
学部教授

\* 専門/研究テーマは、芸能・文化・生  
活文化/芸能と時代、演劇と人間、大  
阪の歴史と芸能史、都市と生活など

産業社会学部教授

森田 浩平(もりた こうへい)

一九三六年二月一七日生まれ

一九六三年三月 京都大学文学部哲学  
科心理学専攻卒業

一九六七年七月 京都大学大学院文学  
研究科修士課程修了

一九七〇年三月 京都大学大学院文学  
研究科博士課程修了

一九七三年四月 立命館大学産業社会  
学部助教授

一九八二年四月 立命館大学産業社会  
学部教授

\* 産業社会学部主事、二部協議会教務主  
任などを歴任

\* 専門/研究テーマは、社会心理学/集  
団行動を中心とする社会的行動または  
社会的現象の心理学的研究

産業社会学部教授

吉田 昌子(よしだ まさこ)

一九三五年六月二九日生まれ

一九五八年三月 立命館大学文学部文  
学科英米文学専攻卒業

一九六一年三月 立命館大学大学院文  
学研究科英文学専攻修士課程修了

大阪市立都島中学校教諭を経て

一九六七年四月 立命館大学文学部助手

一九七一年四月 立命館大学産業社会  
学部助教授

一九七九年四月 立命館大学産業社会  
学部教授

\* 外国語科連絡協議会委員長 国際セン  
ター副所長などを歴任

\* 専門/研究テーマは、英語 英文学/  
二〇世紀イギリス小説を対象に作品と  
時代の関連を考察

国際関係学部教授

唐澤 敬(からさわ けい)

一九三五年一月七日生まれ

一九五九年三月 明治大学政治経済学  
部経済学科卒業

株式会社中央経済社 東京貿易株式会  
社、アジア・アフリカ研究所 高知短  
期大学教授を経て

一九八八年四月 立命館大学国際関係  
学部教授

\* 国際関係学部調査委員長 国際地域研  
究所所長などを歴任

\* 専門/研究テーマは、経済理論・経済  
政策学/二世紀の世界経済エネルギー  
・食糧・環境・人口問題の総合的研究

政策科学部教授

田口 富久治(たがuchi ぶくじ)

一九三二年一月二日生まれ

一九五三年三月 東京大学法学部卒業

東京大学法学部助手、明治大学政治経  
済学部専任講師、同助教授、同教授、  
名古屋大学法学部教授を経て

一九九四年四月 立命館大学政策科学  
部教授

\* 大学協議会委員などを歴任

\* 専門/研究テーマは、政治学/現代政  
治理論、とくに現代国家論 民族と國  
家の問題の理論的検討

文学部教授

児玉 徳美(こたまた とくみ)

一九三五年八月九日生まれ

一九五八年三月 神戸市外国語大学英米学科卒業

兵庫県立三原高等学校教諭を経て

一九六三年四月 立命館大学法学部専任講師

一九六六年四月 立命館大学法学部助教

一九七一年四月 立命館大学法学部教授

一九九一年四月 立命館大学文学部教授

\* 外国語教育センター所長、文学部調査委員長、国際言語文化研究所所長などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、英語学・言語学 / 依存文法

### 文学部教授

佐々木 康之（ささき やすゆき）

一九三五年四月四日生まれ

一九六〇年三月 京都大学文学部仏文学科フランス語フランス文学専攻卒業

一九六二年三月 京都大学大学院文学研究科修士課程フランス語フランス文学専攻修了

一九六五年三月 京都大学大学院文学研究科博士課程フランス語フランス文学専攻単位取得退学

愛知大学教養部講師、同助教を経て一九七六年四月 立命館大学文学部助教

一九七八年四月 立命館大学文学部教授

\* 二部教務主任、外国語教務主任などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、仏文学 / 一八世紀フランスの文学と思想

### 元文学部長・理事 文学部教授

中原 章雄（なかはら あきお）

一九三五年九月一七日生まれ

一九五八年三月 大阪外国語大学英語学科卒業

一九六〇年三月 京都大学大学院文学研究科英語学英文学専攻修士課程修了

大谷大学講師、同助教を経て

一九六四年四月 立命館大学文学部専任講師

一九六六年四月 立命館大学文学部助教

一九七四年四月 立命館大学文学部教授

\* 文学部長・文学研究科主事、図書館長などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、英文学 / 一八世紀の伝記・日記・旅行記と小説発展の相渉関係

### 文学部教授

中村 喬（なかわら たかし）

一九三六年二月二五日生まれ

一九五九年三月 立命館大学文学部史学科卒業

一九六一年三月 立命館大学大学院文学研究科修士課程修了

一九六四年三月 立命館大学大学院文学研究科博士課程東洋文学思想専攻単位取得退学

丸喜株式会社、京都市、富士ニッティング株式会社等を経て

一九七三年四月 立命館大学文学部助教

一九八〇年四月 立命館大学文学部教授

\* 文学部調査委員長などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、中国文化史 / 中国の生活文化

### 元理工学部部長・理事 理工学部教授

井上 和夫（いのうえ かずお）

一九三五年九月二五日生まれ

一九五八年三月 立命館大学理工学部電気工学科卒業

一九六三年三月 大阪大学大学院工学研究科修士課程電気工学専攻修了

一九六六年三月 大阪大学大学院工学研究科博士課程電気工学専攻単位取得満期退学

一九六六年一〇月 立命館大学理工学部専任講師

一九六九年四月 立命館大学理工学部助教

一九七一年四月 立命館大学理工学部教授

\* 理工学部部長、学生部長などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、システム制御工学 / 適応制御、フuzzy制御、ヒューマンインタフェースに関する研究

### 理工学部教授

浦山 隆（うらやま たかし）

一九三六年一月二五日生まれ

一九五八年三月 立命館大学理工学部電気工学科卒業

一九五八年四月 立命館大学理工学部教室助手

一九六九年五月 立命館大学理工学部助手

一九七一年二月 立命館大学理工学部助教

一九八一年四月 立命館大学理工学部教授

\* 理工学部電気工学科主任などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、電力制御工学 / パワーエレクトロニクス応用

### 理工学部教授

中山 康之（なかがやま やすゆき）

一九三五年二月一日生まれ

一九五八年三月 立命館大学理工学部数学物理学科卒業

京都大学化学研究所教員、同助手を経て

一九八五年四月 立命館大学理工学部助教

一九八六年四月 立命館大学理工学部教授

\* SRセンター副センター長、理工学部主事などを歴任

\* 専門 / 研究テーマは、原子物理学 / イオン物理学、陽電子物理学、加速器物理学、放射線物理学

助手

### 理工学部助手

津田 紀年（つた のりとし）

一九四〇年八月二五日生まれ

一九六三年三月 立命館大学理工学部数学物理学科卒業

一九六六年三月 立命館大学大学院理工学研究科修士課程物理学専攻修了

一九六六年四月 立命館大学理工学部教室助手

一九六九年五月 立命館大学理工学部

助手

\* 専門 / 研究テーマは、固体物性 / 水酸化アルカリ金属の構造相転移

### 教諭

立命館中学校高等学校教諭

和田 一夫（わた かずお）

立命館宇治高等学校教諭

谷口 實（たにくち みのる）

立命館履祥高等学校教諭

田口 雅昭（たぐち まさあき）

田中 博道（たなか ひろみち）

### 事務職員

情報管理課

石船 昇（いしふね のぼる）

校友課

清水 喜和（しみず よしかず）

情報管理課

瀬本 清五郎（なもと せいごろう）

秘書課

廣末 良子（ひろすえ ながこ）

法学部事務室

宮崎 洋伸（みやさき ひろのぶ）

入学センター入学課

森本 滋（もりもと しげる）

### 学舎管理職員

管理課

石田 清子（いしだ きよこ）

徳田 寛規（とくだ ひろき）

中谷 重之（なかに しげゆき）

立命館中学校高等学校事務室

武内 良一（たけうち りょういち）

編集室から

\*映画館で最初に見た作品は、仏・伊合作の『パリのめぐり逢い』。たしか高校1年生の時。イブ・モンタンに酔いしれ、フランシス・レイの甘いBGMに魅了され、ストーリーはそこそこで男と女の耽美な翼にはまっています。これでフランス映画の虜になる。加えてオーディオ・ヘッドホンも総べて見た。一方で剣道一直線。来る日も来る日も汗にまみれて道場での打ち回った。何がそうさせたか。時代劇映画ファン、立ち回りも鮮やかな御大諸氏の大ファンだったから。『新吾十番勝負』の大川橋蔵はもうたまらない。もちろん黒沢の『七人の侍』は言うに及ばず。という訳で今回の企画はワークでした。(オ)

\*今号は楽しい取材が続きました。救急隊員の西馬さん、颯爽という言葉はあなたのためにある。『オーディオ』特集でお目にかかった芸能関係の方々も、皆さん超ご多忙にもかかわらず、お疲れも見せずさすがに接して下さり感動!! まっすぐこちらを見て一生懸命インタビューにこたえてくれた倉木麻衣さんの澄んだ瞳も印象的でした。そして芸歴60年、長門裕之さんの風格たるや申し上げるまでもありません。美しい花で飾られたお部屋で、奥様の南田さん手ずからお淹れ下さったお茶をいただきながら思い出したのは、子供の頃両親と見た『ミュージックフェア』。当時、大スターご夫婦と見て眺めていたお二人と言葉を交わしている私...人生って面白いものですね。(寺)

\*昨年末に十何年ぶりに、家族水入らずで旅行に出かけた。旅行といっても、息子の運転で城崎温泉に一泊しただけだったが、こんな気楽な楽しい旅行は久しぶりだった。不況の影響もあって観光客が減少している温泉が多い中で、城崎温泉は若い人たちに人気があるようだ。川沿いには旅館に混じって、洒落たお店や地ビールを飲ませるお店などが並び、若い人たちがいっぱいだった。温泉側の努力が町の美しさと活気に現れ、心地良い雰囲気を作っている。アジア大平洋大学のあな別の温泉もこれから若い人たちが賑わうことだろう。来年の年末は別府に行きたいなんて思いながら帰路についた。(M.K.)

\*芸能人のご登場が多かった204号。誌面もことに華やかになった。NHKのドラマといえば、今年の大河ドラマ『北条時宗』の脚本をお書きなのは、もう5年前になるが本誌表紙を飾って下さった井上由美子さん(85文)である。素晴らしい作品になるよう皆で応援しよう。さて本誌は、いわゆる有名人名ではない大半の校友諸氏のことでもとても大切に思っている。「われら立命人」の竹本さんに共感する女性校友の方もきっと多かる。その時々、自分が置かれた環境下でできるだけの努力をする。その中で喜びを見つけ、輝いていく。こんな素敵な仲間をご紹介しますことで、皆さんにも元気になっていただければ嬉しい。(O)

りつめい No.204 / 年4回発行

発行所 / 立命館大学校友会  
 編集人 / 尾崎 敬則  
 発行人 / 河原 四郎  
 〒603-8577 京都市北区等持院北町  
 Tel. 075 (465) 8120・8124  
 Fax. 075 (465) 8125  
 http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/

I N F O R M A T I O N

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
機友会東北支部設立記念総会	3/24(土) 14:00	仙台ガーデンパレス	酒井 達雄 077(561)2664
体育会OB会創設20周年記念式典・祝賀会	4/21(土) 16:00	京都パークホテル	川本 末夫 075(381)7381
東京地区新人歓迎会	5/26(土) 時間・会場未定。お問い合わせ下さい。		東京オフィス 03(5204)8611
奈良県校友会総会	6/9(土) 13:00	橿原神宮崇敬会館	出店 伸元 0742(63)3075
高知県校友会総会&四国ブロック会議	6/16(土) 13:00	城西館	堀田 誠一 088(824)8434
徳島県校友会総会	6/23(土) 16:00	阿波観光ホテル	板東 愨夫 088(652)7171
香川県校友会総会	7/8(日) 15:00	ホテルニューフロンティア	酒井 成徳 087(886)9527
兵庫県校友会総会	7/8(日) 12:00	湊川神社楠公会館	園田学園女子大学エクステンションセンター 中野 友擴 06(6429)9908

立命館・UBCジョイントプログラム10周年記念

ホームカミングデー Home Coming Day at UBC

2001年8月15日~18日、カナダ・バンクーバーのUBC(プリティッシュ・コロニア大学)にて記念行事開催を計画しています。ジョイントプログラム参加経験者の皆さん、なつかしのUBCへ、ぜひ再び! 行事の概要等を校友会ホームページに掲載しています。

お問い合わせ・参加希望のご連絡は、立命館大学国際課(Tel. 075-465-8230)まで。

校友消息(判明分・順不同)

受賞

京都府文化賞特別功労賞  
 大野豊貴員教授(元理工学部長)  
 関西TLO(株)代表取締役社長

京都府文化賞奨励賞

松田正隆氏(89文) 脚本家

日本スポーツ賞オリンピック特別賞

武田美保氏(99産社)  
 シンクロナイズドスイミング選手

表彰

平成12年度「現代の名工」労働大臣表彰  
 石原政之氏(53経済)  
 京都府紙器段ボール箱工業組合副理事長

就任

木村嘉勝氏(68理工)  
 広島労働局長  
 樋高龍治氏(59法)  
 福岡県岡垣町長  
 神田喜代蔵氏(62理工)  
 井上金属工業(株)代表取締役社長  
 岡田 明氏(64法)  
 キヤノンソフトウェア(株)代表取締役社長(3.23就任予定)  
 水野武夫氏(64法)  
 大阪弁護士会2001年度会長  
 福井啓介氏(68法)  
 京都弁護士会2001年度会長

お知らせ

校友住所等変更通知専用フリーダイヤルを開設いたしました

お名前・ご住所・勤務先・電話番号等変更の際にご利用下さい。なお、郵便でも受付けております。

Tel. 0120-252094 Fax. 0120-252095

各種証明書発行依頼先について

卒業証明書・成績証明書などの発行依頼は各学部事務室までお願いいたします。二部(現・夜間主コース)卒業生の方につきましても同様に各学部事務室にて承っております。

[証明書発行依頼先]

法学部・文学部・産業社会学部・国際関係学部・政策科学部...衣笠キャンパス  
 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 Tel. 075(465)1111(代)  
 経済学部・経営学部・理工学部...びわこ・くさつキャンパス  
 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 Tel. 077(566)1111(代)



校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。お待ちしております。

大淵幸治氏(78文)著  
 『丁寧なほどおそろしい「京ことば」の人間関係学』  
 祥伝社 \* 1400円

知念 実氏(61法)著  
 『2002年版 面接官と会社  
 の説明まるわかり事典』  
 成美堂出版 \* 1000円

目黒輝美氏(73文・旧姓衣笠)著  
 『障害者運動と福祉 国際比較  
 による障害者エンパワーメント』  
 恒星社厚生閣 \* 2800円

内野公美子氏(84経営)著  
 『フラワー\*エブリデイ』  
 フレーベル館 \* 950円

価格は本体価格です。

2001年度モニター募集

『りつめい』各号内容についてのアンケート調査にご協力いただきたいと思ひます。



期間は2001年7月1日(No.205)から1年間。期間終了後粗品を進呈いたします。

葉書に住所・氏名・卒年・学部・職業を明記の上、5月10日(木)必着でご応募下さい。

〒603-8577 立命館大学校友会  
 会報モニター募集まで